

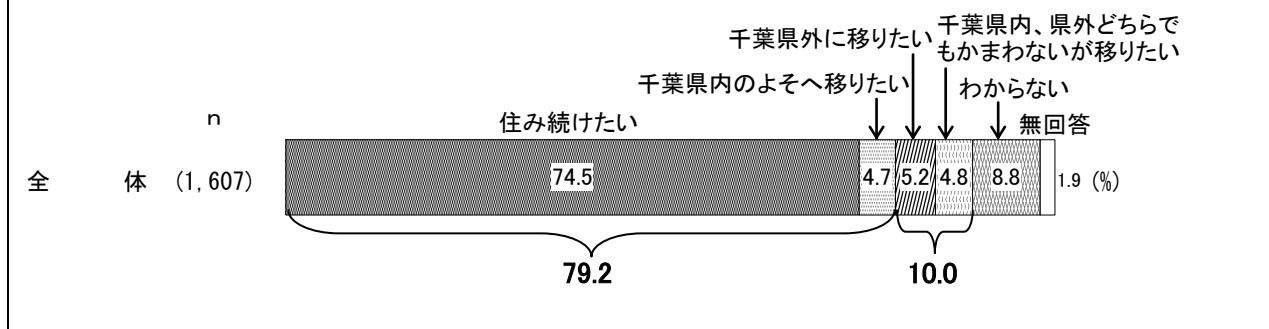
1 環境と生活について

(1) 今後の居留意向

◇『住み続けたい』が7割台半ば

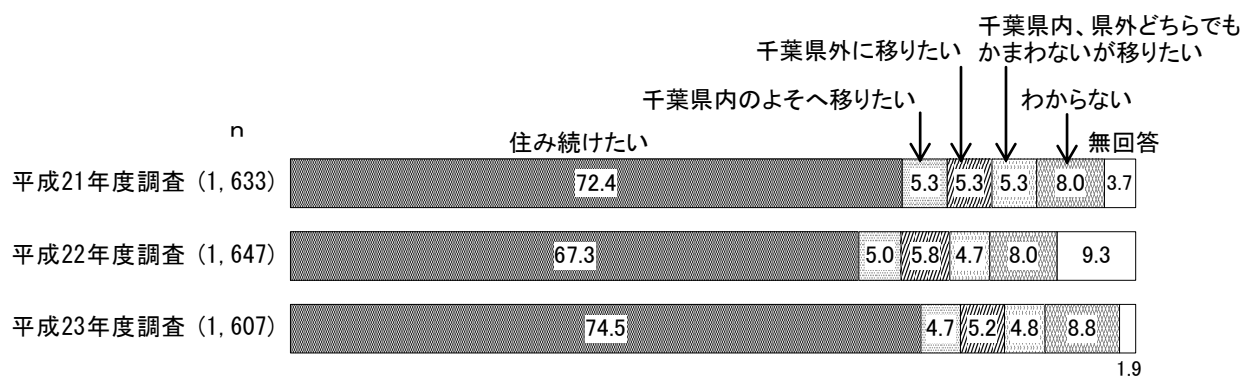
問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<図表1-1>今後の居留意向



現在お住まいの地域に、今後の居留意向を聞いたところ、「住み続けたい」(74.5%)が7割台半ば、「千葉県内のよそへ移りたい」(4.7%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』が79.2%で約8割である。一方、「千葉県外に移りたい」(5.2%)、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」(4.8%)を合わせた『移りたい』が10.0%で1割となっている。(図表1-1)

〔参考〕平成21年度・平成22年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

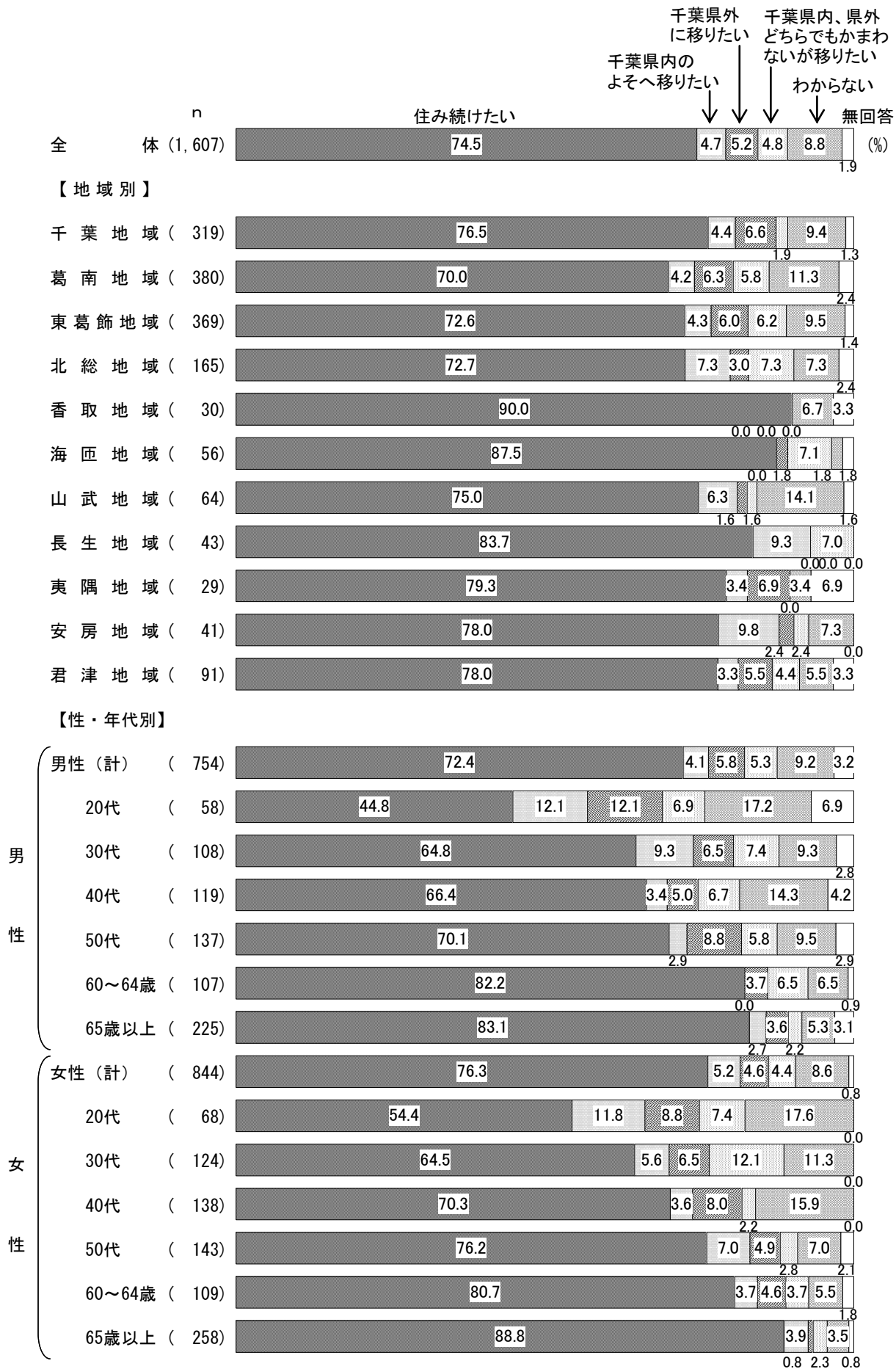
地域別にみると、「住み続けたい」は“香取地域”(90.0%)が9割で最も高く、“海匠地域”(87.5%)、“長生地域”(83.7%)が8割以上で続いている。一方、『移りたい』は“東葛飾地域”(12.2%)、“葛南地域”(12.1%)、“北総地域”(10.3%)が1割以上で他の地域に比べて高くなっている。

(図表1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」が男女ともに年代が上がるほど高くなり、男性の60~64歳(82.2%)、65歳以上(83.1%)と女性の60~64歳(80.7%)、65歳以上(88.8%)が8割以上となっている。一方、『移りたい』は男性の20代(19.0%)、女性の30代(18.6%)が約2割で他の年代に比べて高くなっている。(図表1-2)

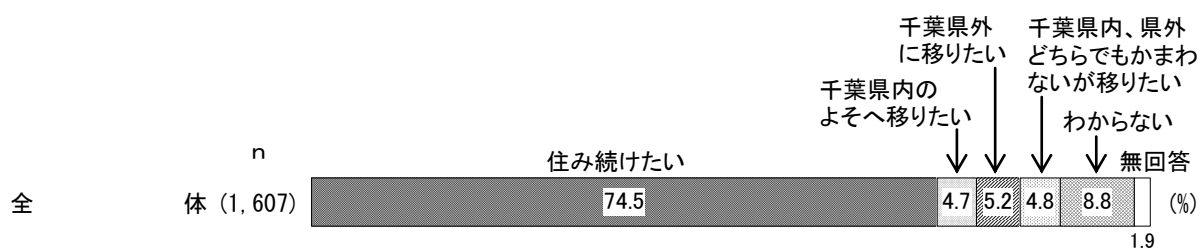
<図表 1 - 2> 今後の居留意向／地域別、性・年代別



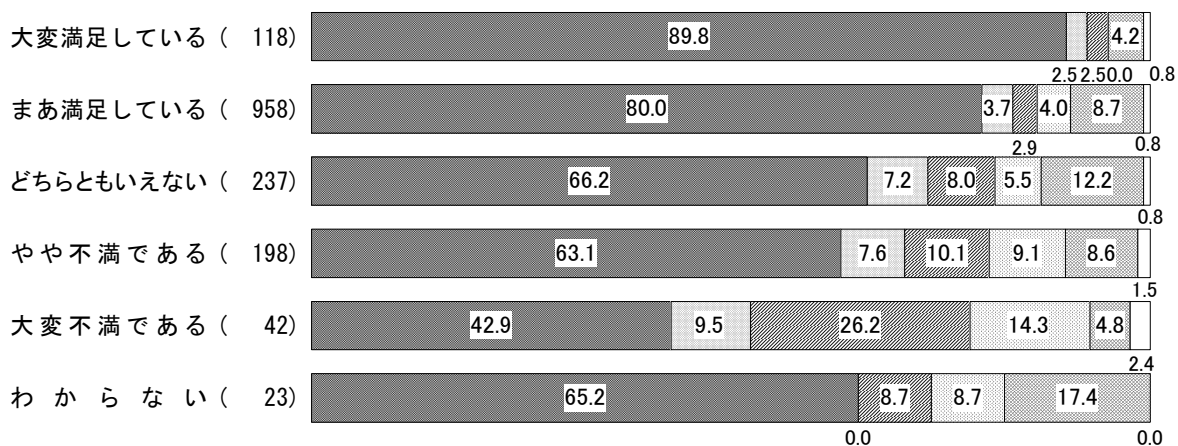
<今後の居留意向と各環境の満足度>

居留意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「自然・周辺環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、自然・周辺環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答は高くなる傾向にある。(図表1-3)

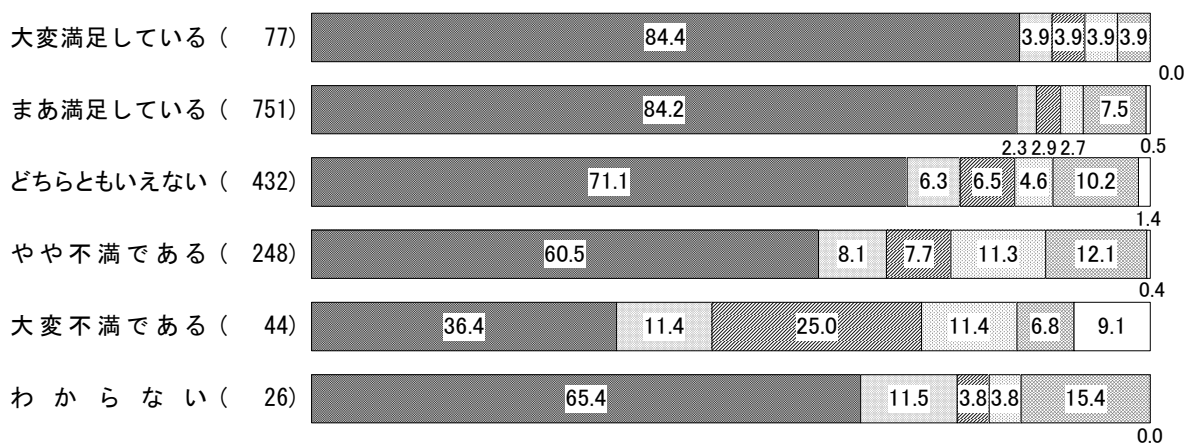
<図表1-3>今後の居留意向と各環境の満足度



【生活環境全般の満足度（問3）別】



【自然・周辺環境全般の満足度（問5）別】



(1-1) 住み続けたい理由

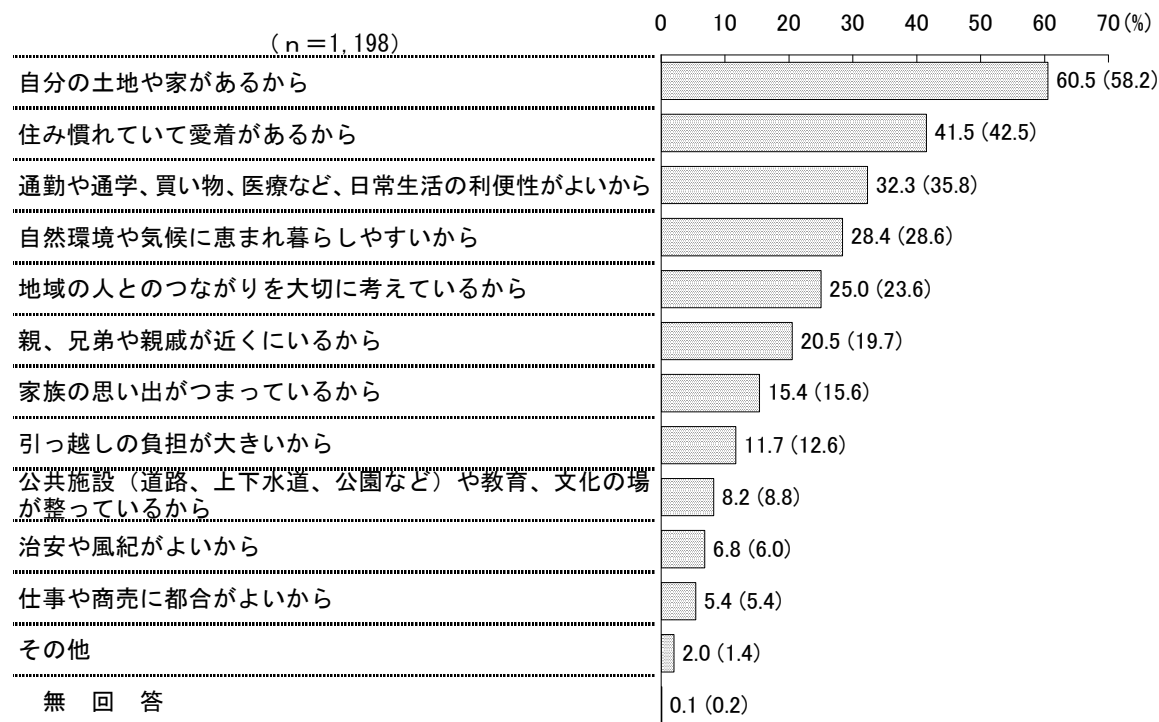
◇「自分の土地や家があるから」が6割

(問1で「1 住み続けたい」とお答えの方に)

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

(〇は3つまで)

<図表1-4>住み続けたい理由



注) () の数字は平成22年度の同様の項目による調査結果 n=1,108

「住み続けたい」と回答した1,198人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(60.5%)が6割、以下、「住み慣れていて愛着があるから」(41.5%)、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」(32.3%)が続く。

(図表1-4)

【地域別】

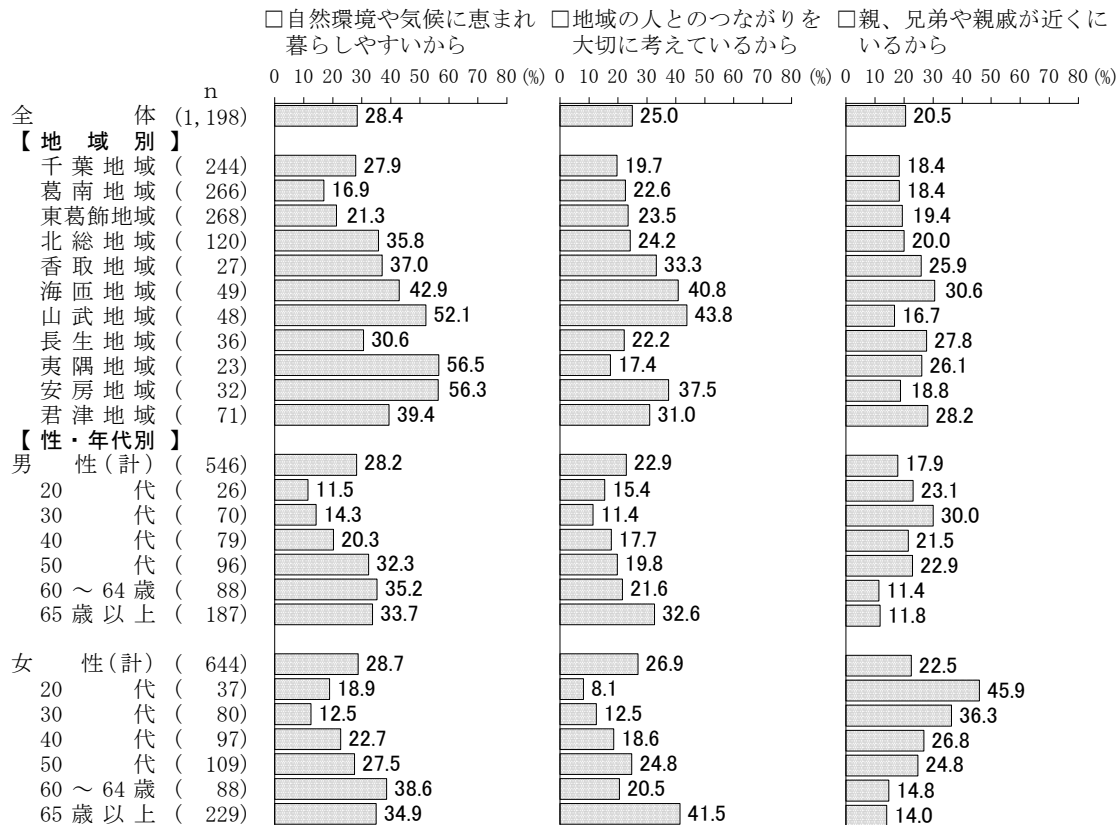
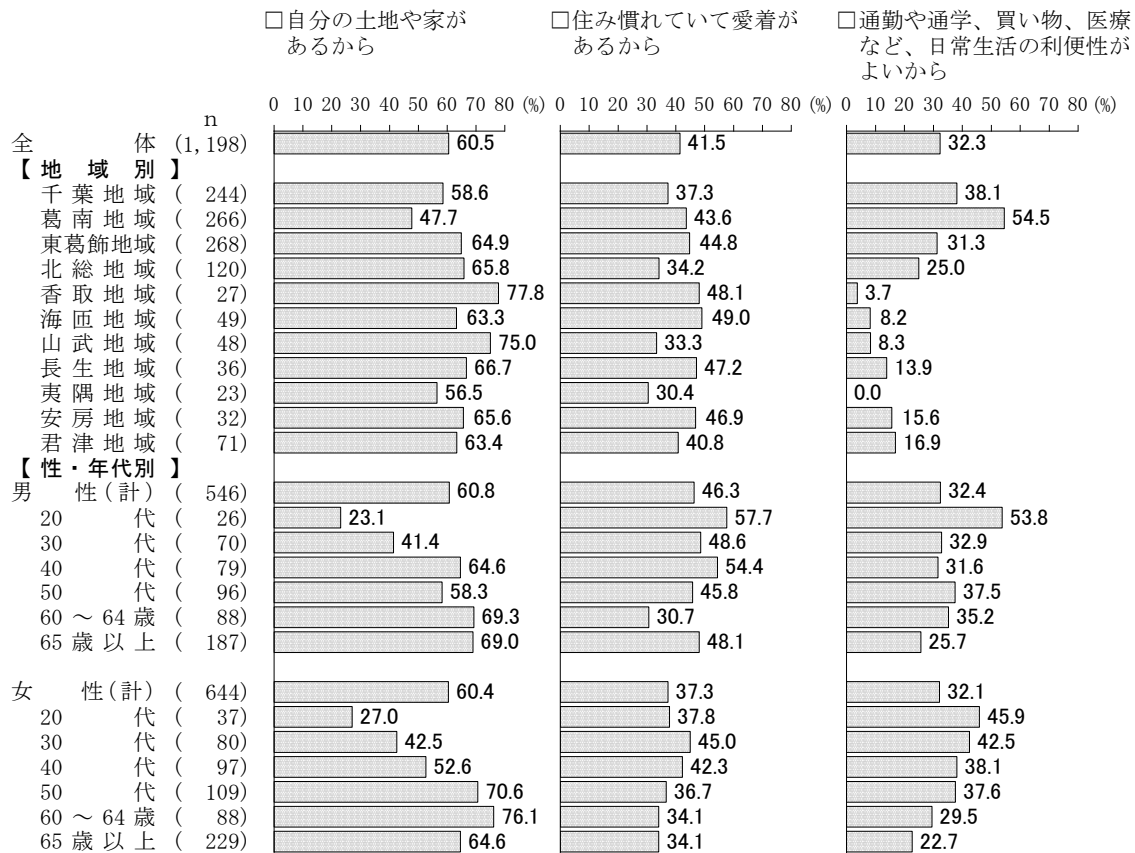
地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“香取地域”(77.8%)が約8割で最も高く、“葛南地域”(47.7%)が他の地域に比べて低くなっている。「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”(54.5%)が5割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。

(図表1-5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は女性の50代(70.6%)、60~64歳(76.1%)が7割以上で他の年代に比べて高くなっている。「住み慣れていて愛着があるから」は60~64歳以外のすべての年代で男性が女性より高くなっている。(図表1-5)

<図表 1-5> 住み続けたい理由／地域別、性・年代別（上位6項目）



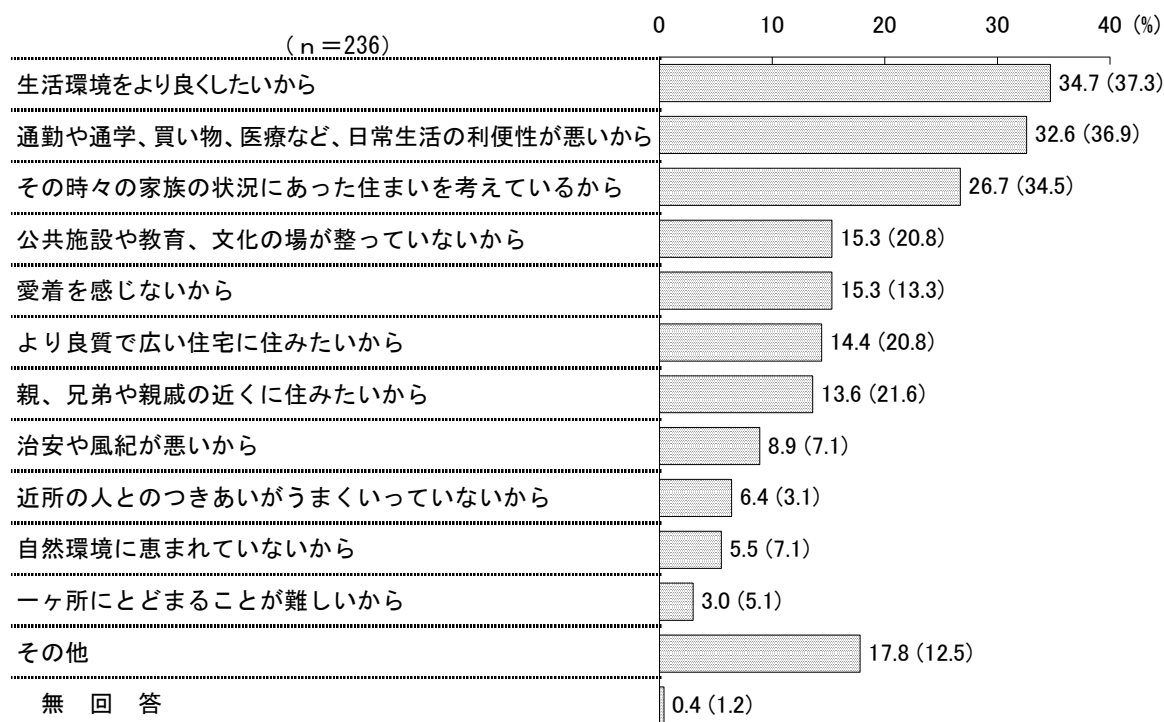
(1-2) 移りたい理由

◇「生活環境をより良くしたいから」が3割台半ば

(問1で「2 千葉県内のよそへ移りたい」「3 千葉県外に移りたい」「4 千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」のいずれかをお答えの方に)

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

<図表1-6>移りたい理由



注) () の数字は平成22年度の同様の項目による調査結果 n=255

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」と回答した236人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境をより良くしたいから」(34.7%)が3割台半ばで最も高く、以下、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」(32.6%)、「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」(26.7%)が続く。(図表1-6)

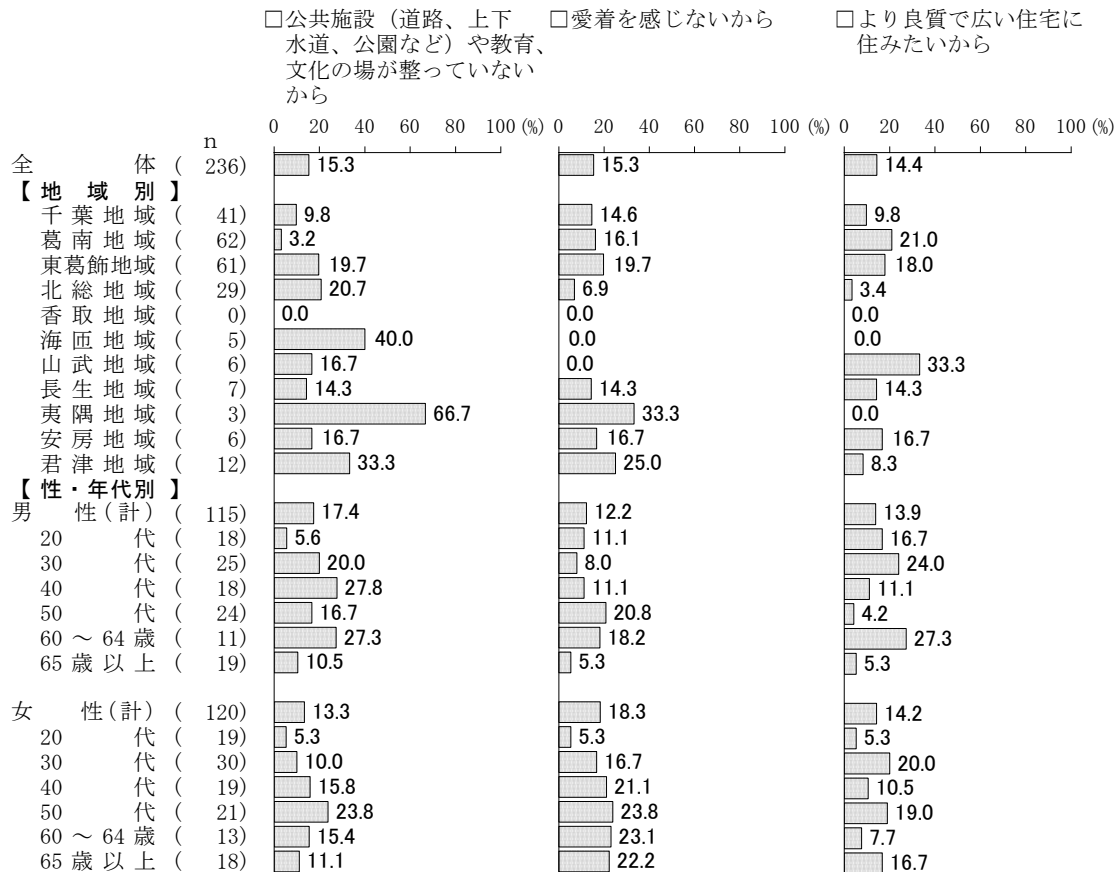
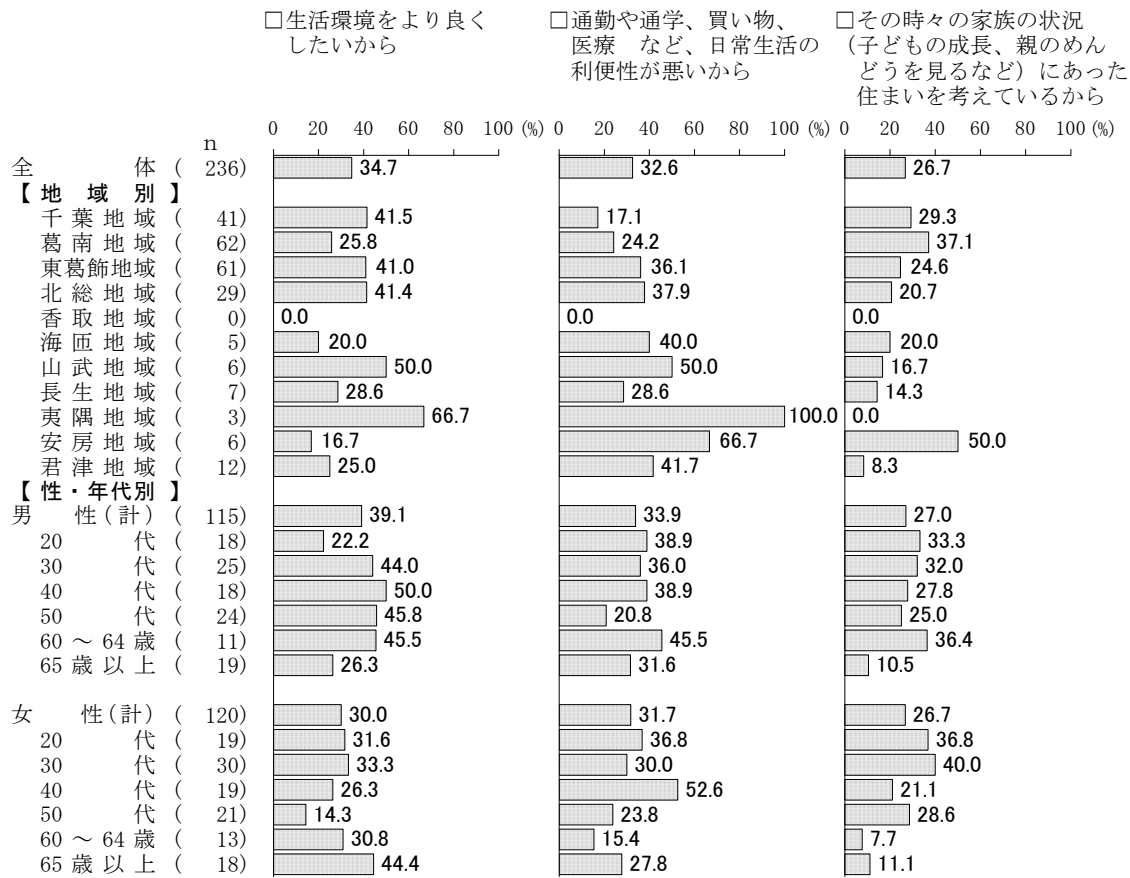
【地域別】

地域別にみると、「生活環境をより良くしたいから」は、千葉地域(41.5%)、東葛飾地域(41.0%)、北総地域(41.4%)、山武地域(50.0%)、夷隅地域(66.7%)が全体を上回っている。「その時々家族の状況(子どもの成長、親のめんどろを見るなど)にあった住まいを考えているから」では、千葉地域(29.3%)、葛南地域(37.1%)、安房地域(50.0%)が全体よりも高くなっている。(図表1-7)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「生活環境をより良くしたいから」は男性(39.1%)が約4割で、女性(30.0%)が3割となっている。(図表1-7)

<図表 1-7> 移りたい理由／地域別、性・年代別（上位6項目）



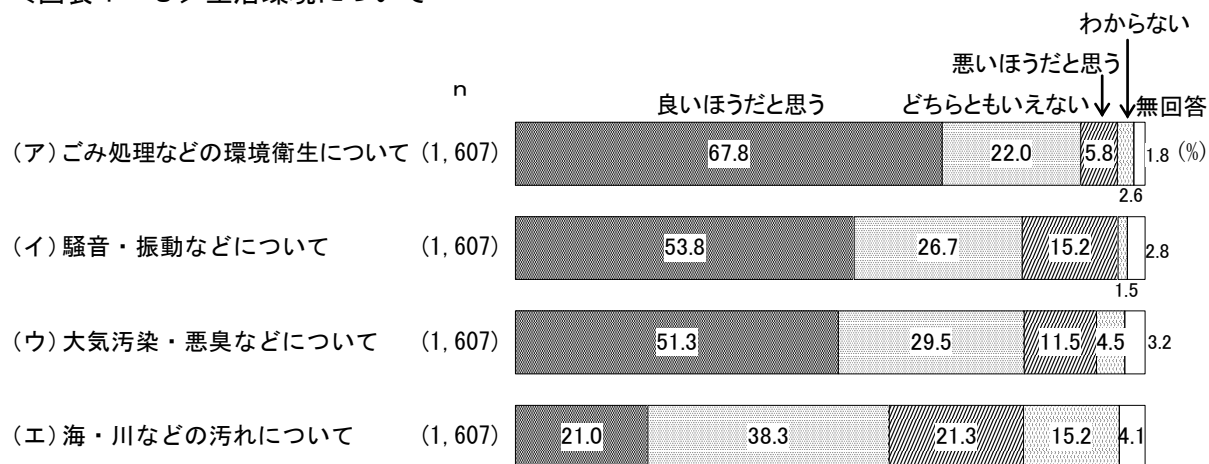
(2) 生活環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生について〉で約7割

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

〈図表1-8〉生活環境について

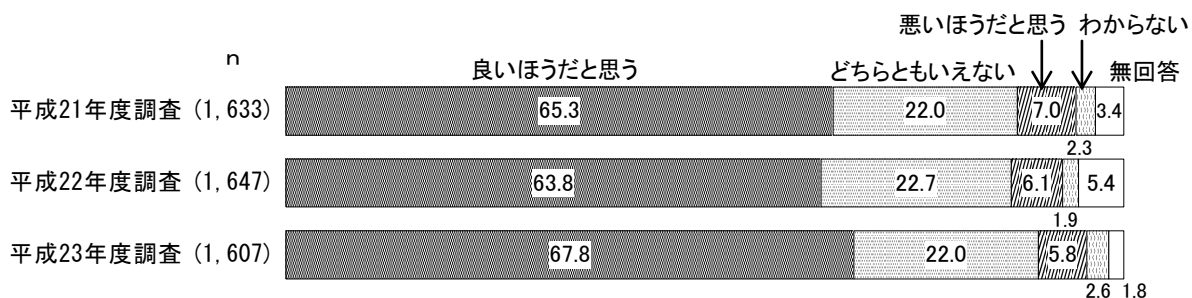


生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生について〉(67.8%)で約7割となっている。以下、〈騒音・振動などについて〉(53.8%)と〈大気汚染・悪臭などについて〉(51.3%)が5割を超えている。

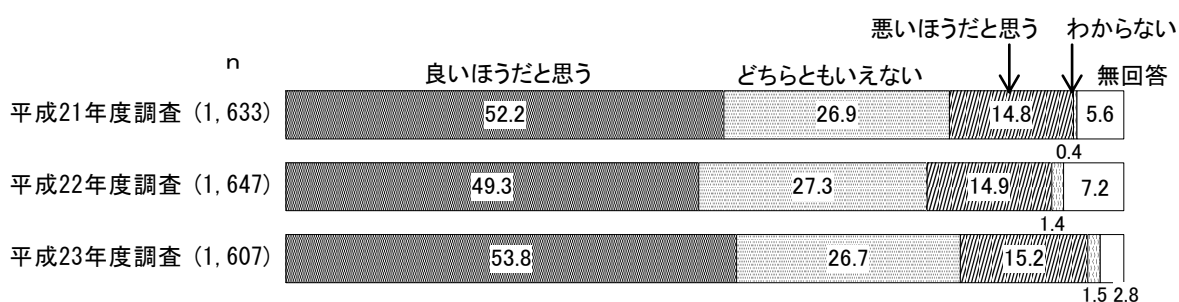
一方、〈海・川などの汚れについて〉は、「悪いほうだと思う」(21.3%)が「良いほうだと思う」(21.0%)をわずかに上回っている。(図表1-8)

〔参考〕平成21年度・平成22年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

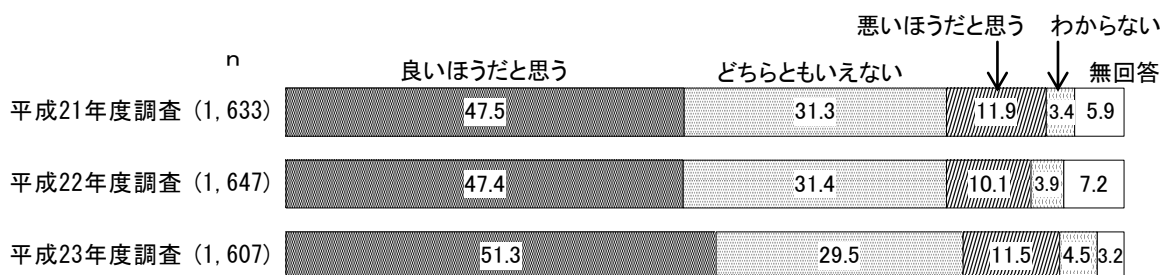
(ア) ごみ処理などの環境衛生について



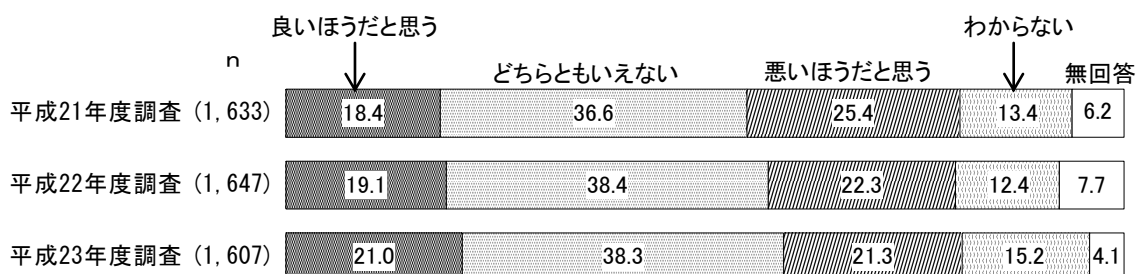
(イ) 騒音・振動などについて



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて



(エ) 海・川などの汚れについて



【地域別】

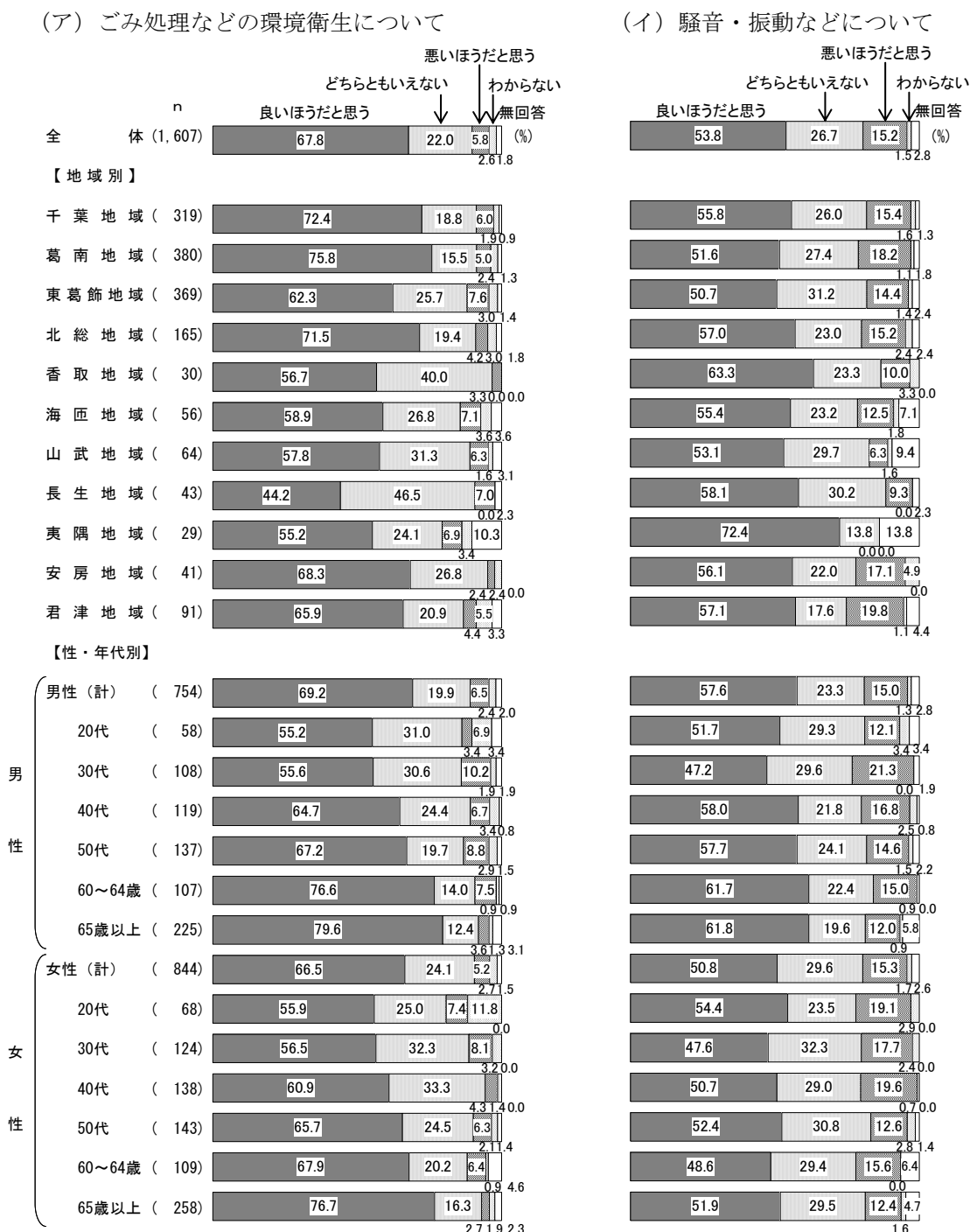
地域別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は“葛南地域”（75.8%）が7割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。（図表1－9）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は男女ともに年代が上がるほど高くなり、男性は65歳以上（79.6%）が8割、女性は65歳以上（76.7%）が7割台半ばで最も高い。〈騒音・振動などについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（61.8%）、60～64歳（61.7%）が6割を超えている。〈大気汚染・悪臭などについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（61.3%）が6割を超えている。〈海・川などの汚れについて〉において、「悪いほうだと思う」は男性の30代（39.8%）、女性の20代（38.2%）が約4割となっている。

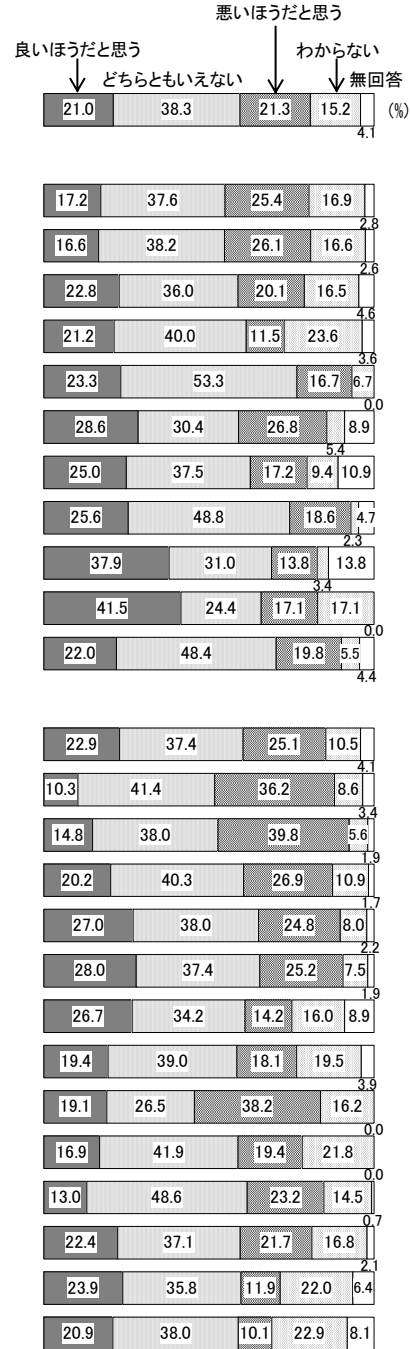
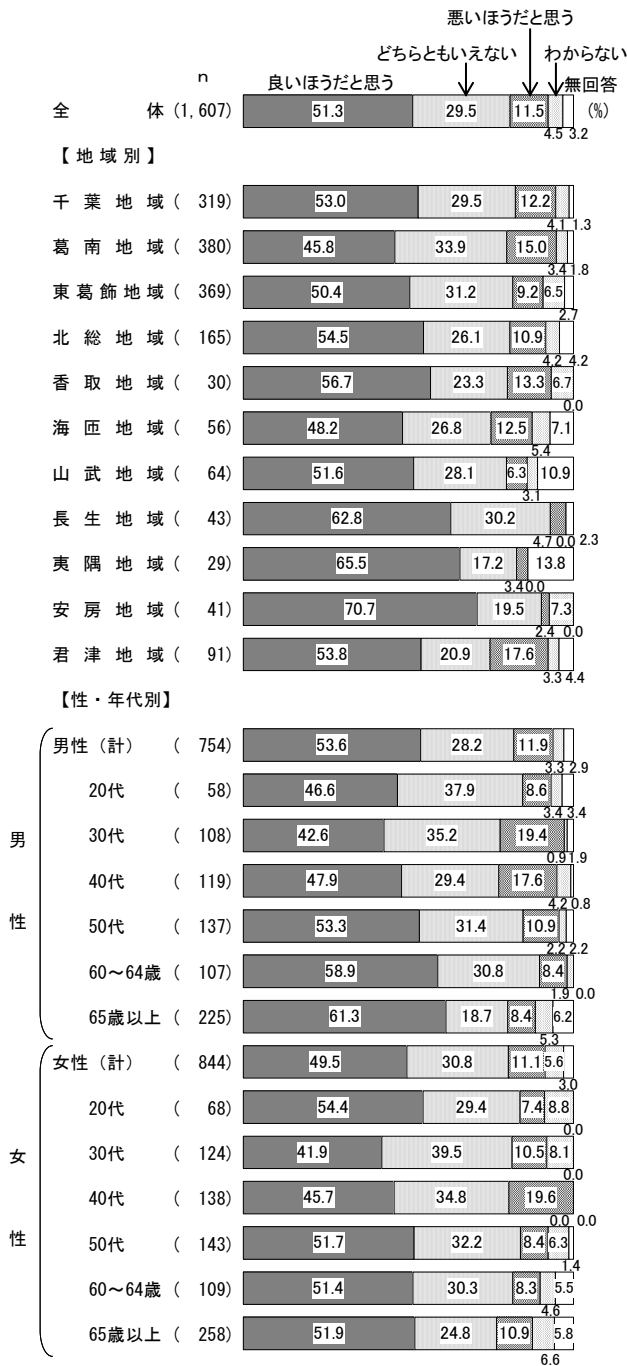
（図表1－9）

＜図表1－9＞生活環境について／地域別、性・年代別



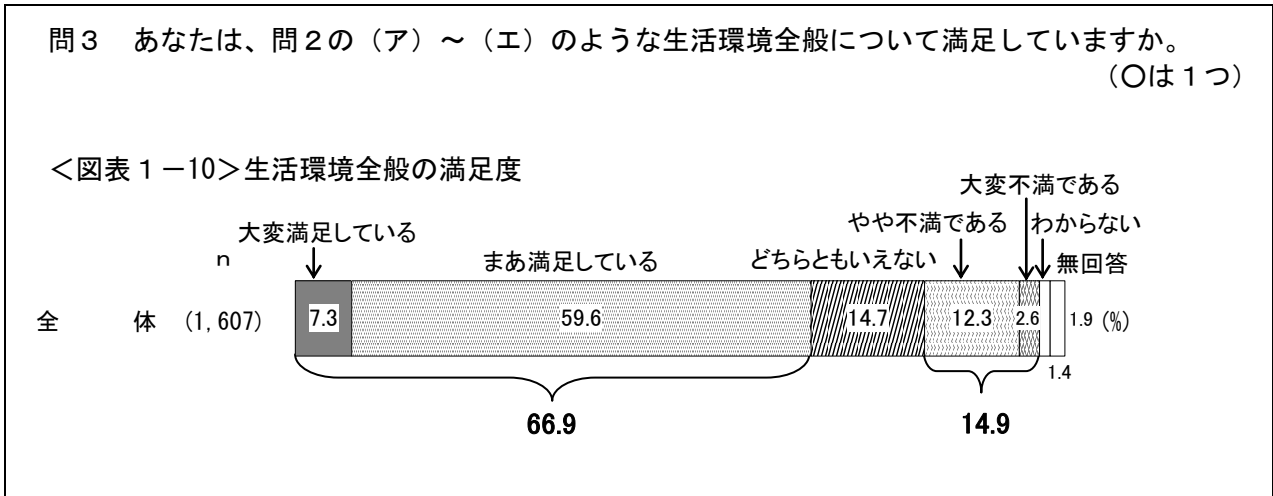
(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

(エ) 海・川などの汚れについて



(3) 生活環境全般の満足度

◇『満足している』は6割台半ば



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(7.3%)と「まあ満足している」(59.6%)を合わせた『満足している』(66.9%)は6割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(12.3%)と「大変不満である」(2.6%)を合わせた『不満である』(14.9%)は1割台半ばとなっている。(図表1-10)

〔参考〕平成21年度・平成22年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査(1,633)	62.4	16.7	20.9
平成22年度調査(1,647)	61.7	16.3	22.0
平成23年度調査(1,607)	66.9	14.9	18.0

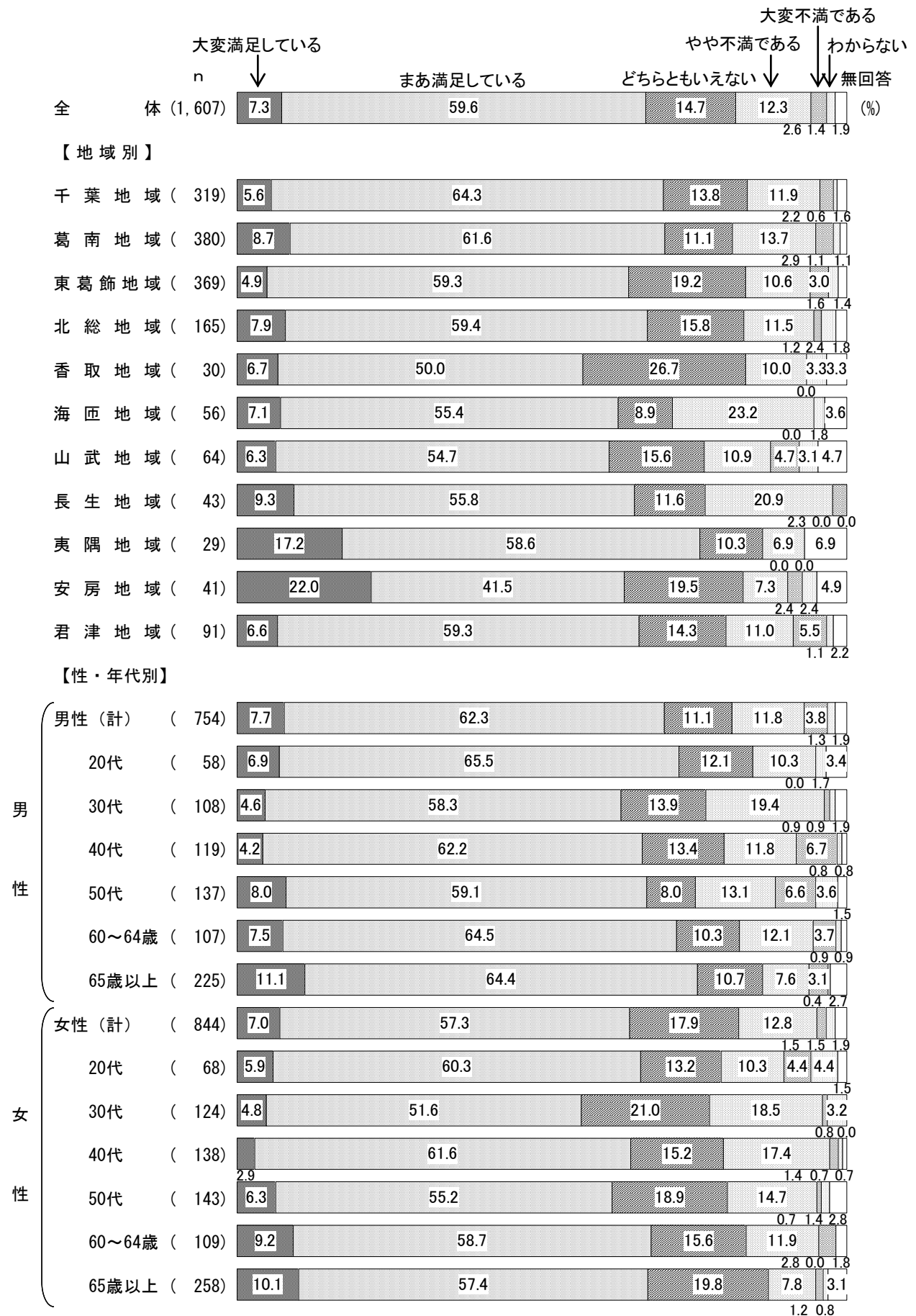
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“香取地域”(56.7%)以外のすべての地域で6割以上となっている。(図表1-11)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(75.5%)が7割台半ばで最も高く、男性の20代(72.4%)、男性の60～64歳(72.0%)と続いている。(図表1-11)

<図表 1-11>生活環境全般の満足度／地域別、性・年代別



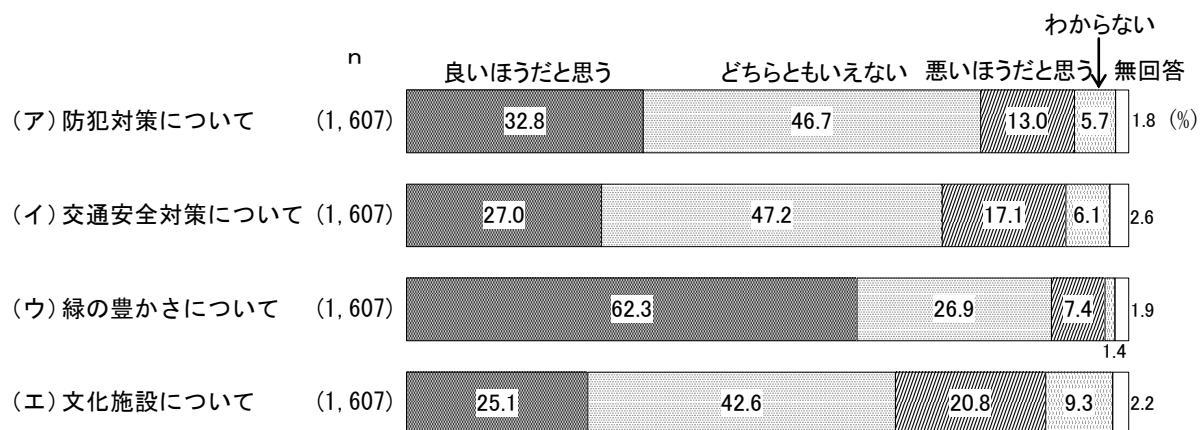
(4) 自然・周辺環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉で6割を超えている

問4 あなたは、現在お住まいの地域の自然・周辺環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

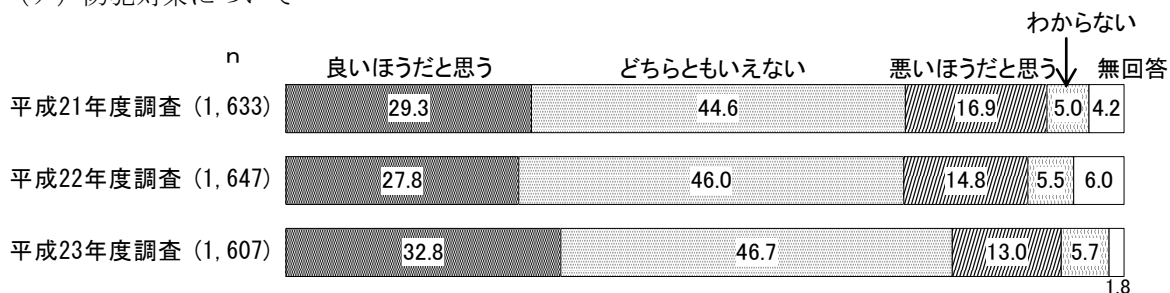
<図表1-12> 自然・周辺環境について



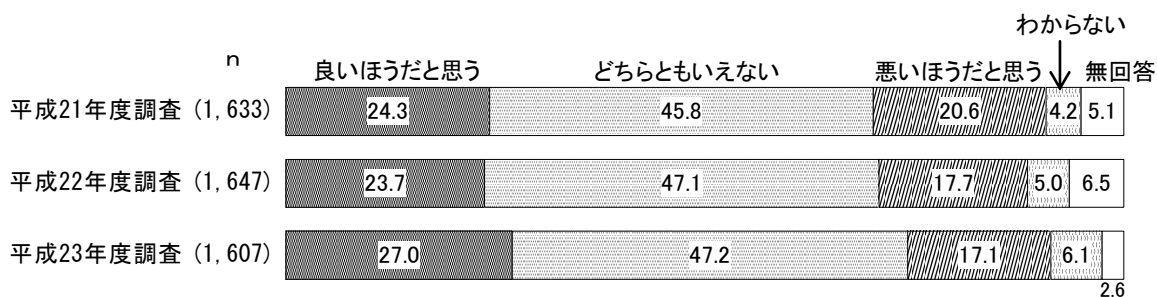
自然・周辺環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉(62.3%)が6割を超え、次に〈防犯対策について〉(32.8%)が3割を超えている。一方、それ以外の2項目については、「良いほうだと思う」がいずれも2割台となっている。(図表1-12)

〔参考〕平成21年度・平成22年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

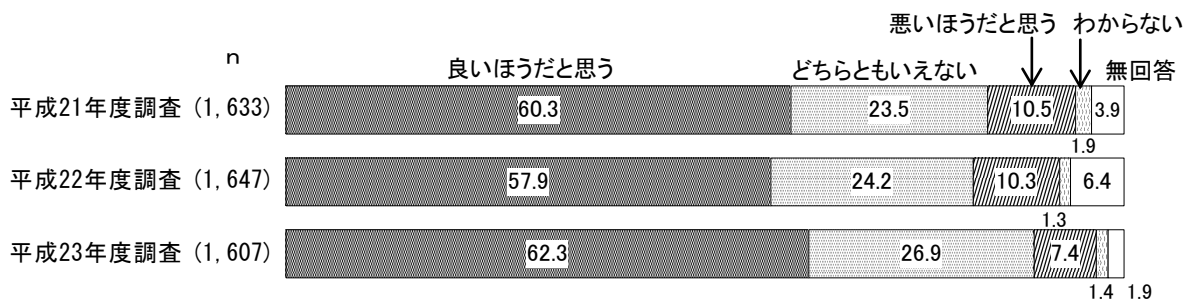
(ア) 防犯対策について



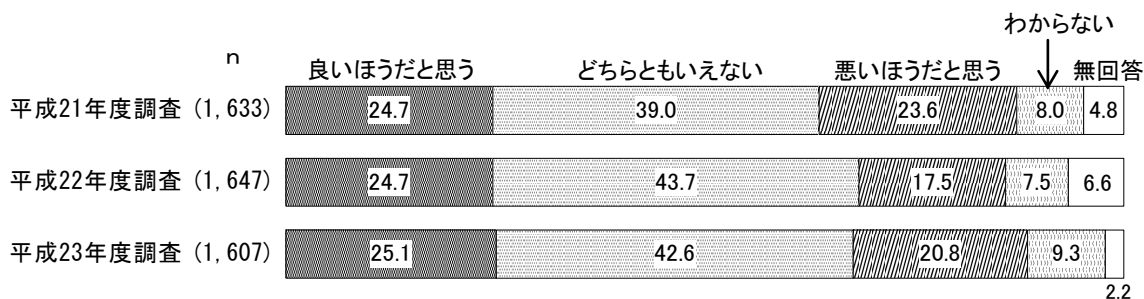
(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて



(エ) 文化施設について



【地域別】

地域別にみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は“香取地域”（13.3%）以外のすべての地域で3割前後となっている。〈交通安全対策について〉において、「悪いほうだと思う」は“葛南地域”（20.0%）が2割で最も高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は“夷隅地域”（93.1%）が9割台半ば、「悪いほうだと思う」は“葛南地域”（14.7%）が1割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”（34.1%）が3割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。（図表1-13）

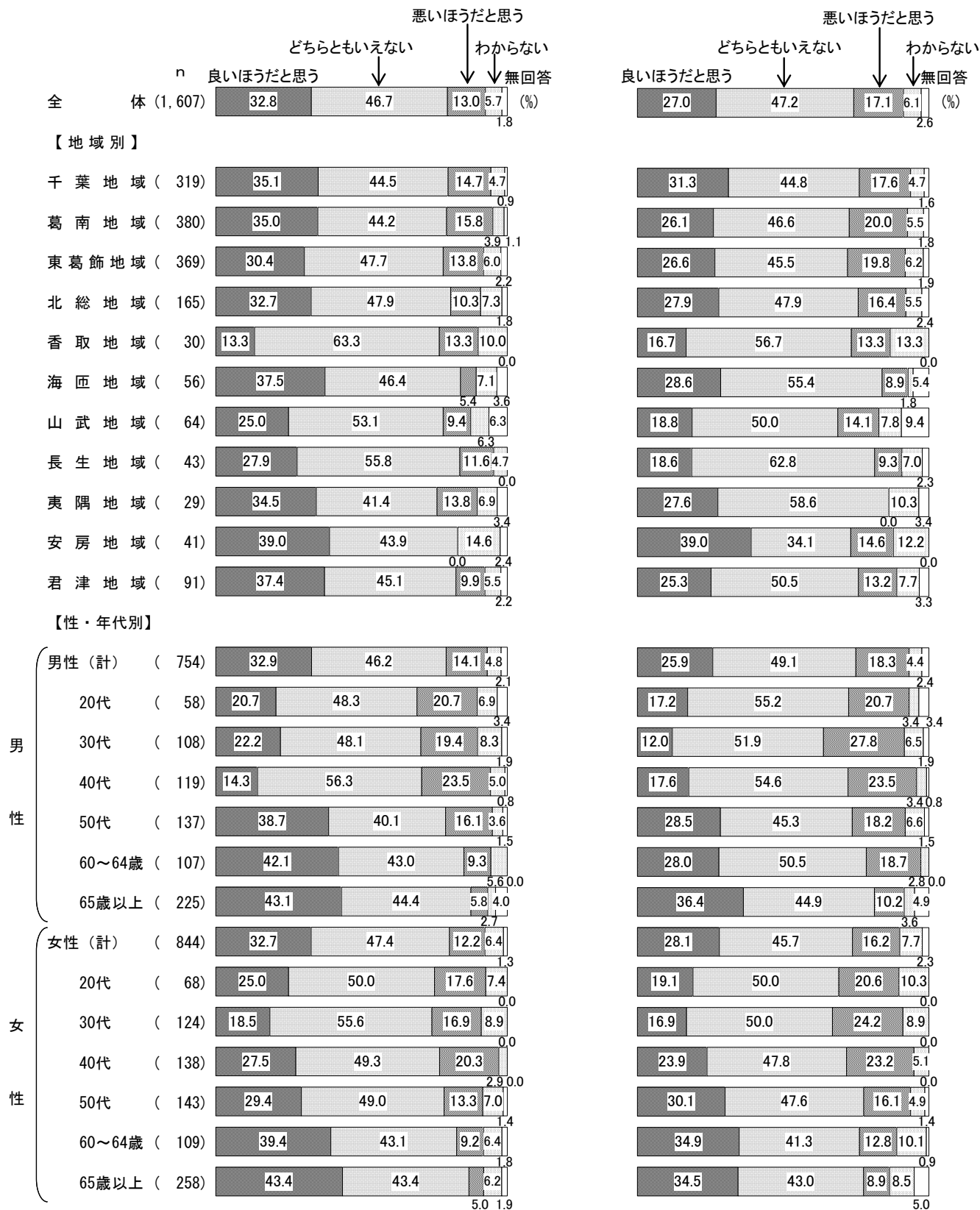
【性・年代別】

性・年代別でみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（43.1%）、女性の65歳以上（43.4%）が4割台半ばで最も高くなっている。「悪いほうだと思う」は男性の40代（23.5%）が2割台半ばで最も高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（36.4%）、女性60～64歳（34.9%）、女性65歳以上（34.5%）で3割台半ば、「悪いほうだと思う」は男性の30代（27.8%）が約3割である。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は女性の60～64歳（67.0%）が約7割と最も高く、〈文化施設について〉において、「悪いほうだと思う」は男性の40代（29.4%）が約3割と最も高くなっている。（図表1-13）

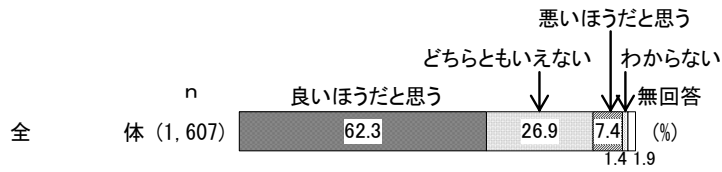
<図表 1-13> 自然・周辺環境について／地域別、性・年代別

(ア) 防犯対策について

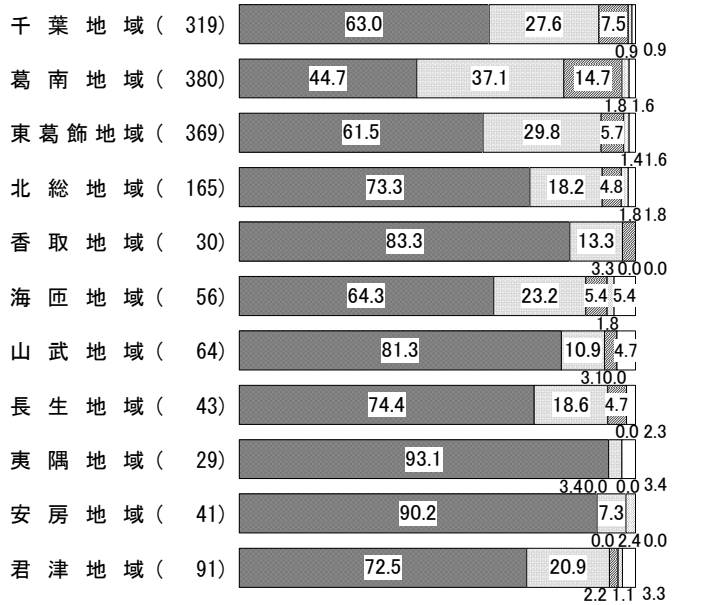
(イ) 交通安全対策について



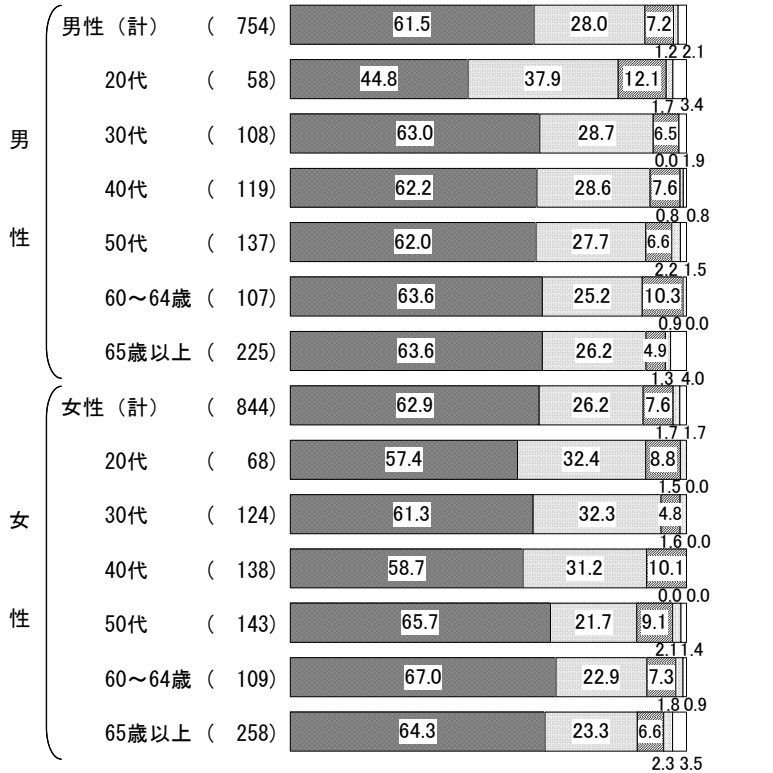
(ウ) 緑の豊かさについて



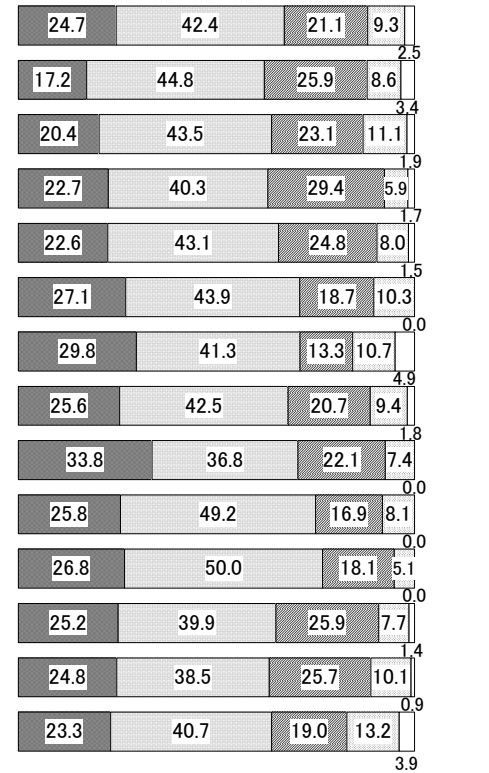
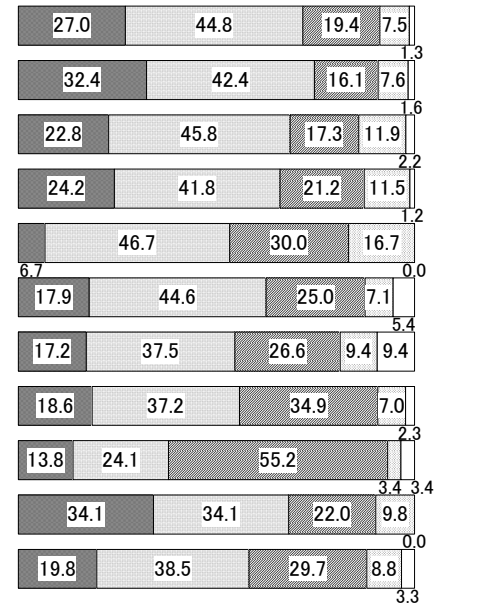
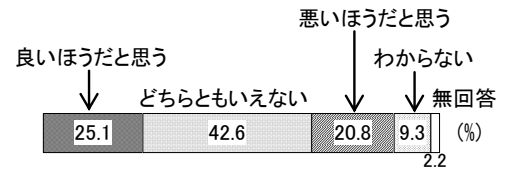
【地域別】



【性・年代別】



(エ) 文化施設について

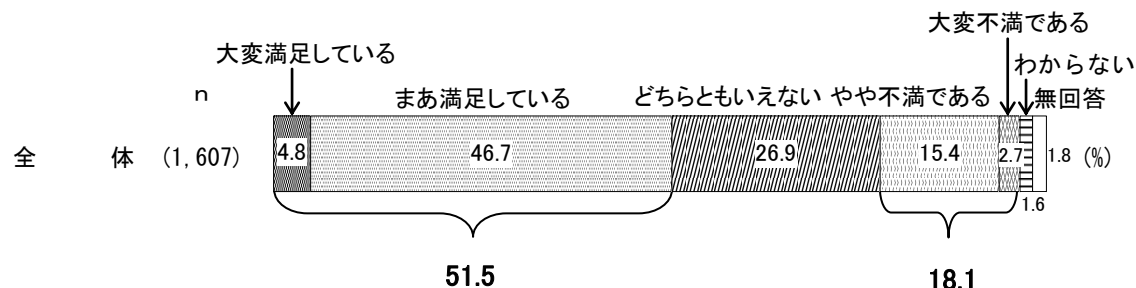


(5) 自然・周辺環境全般の満足度

◇『満足している』は5割を超える

問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような自然・周辺環境全般について満足していますか。(○は1つ)

<図表1-14>自然・周辺環境全般の満足度



自然・周辺環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.8%)と「まあ満足している」(46.7%)を合わせた『満足している』(51.5%)は5割を超えている。一方、「やや不満である」(15.4%)と「大変不満である」(2.7%)を合わせた『不満である』(18.1%)は2割弱となっている。(図表1-14)

〔参考〕平成21年度・平成22年度調査の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査 (1,633)	45.9	22.1	32.0
平成22年度調査 (1,647)	49.8	19.6	30.6
平成23年度調査 (1,607)	51.5	18.1	30.3

【地域別】

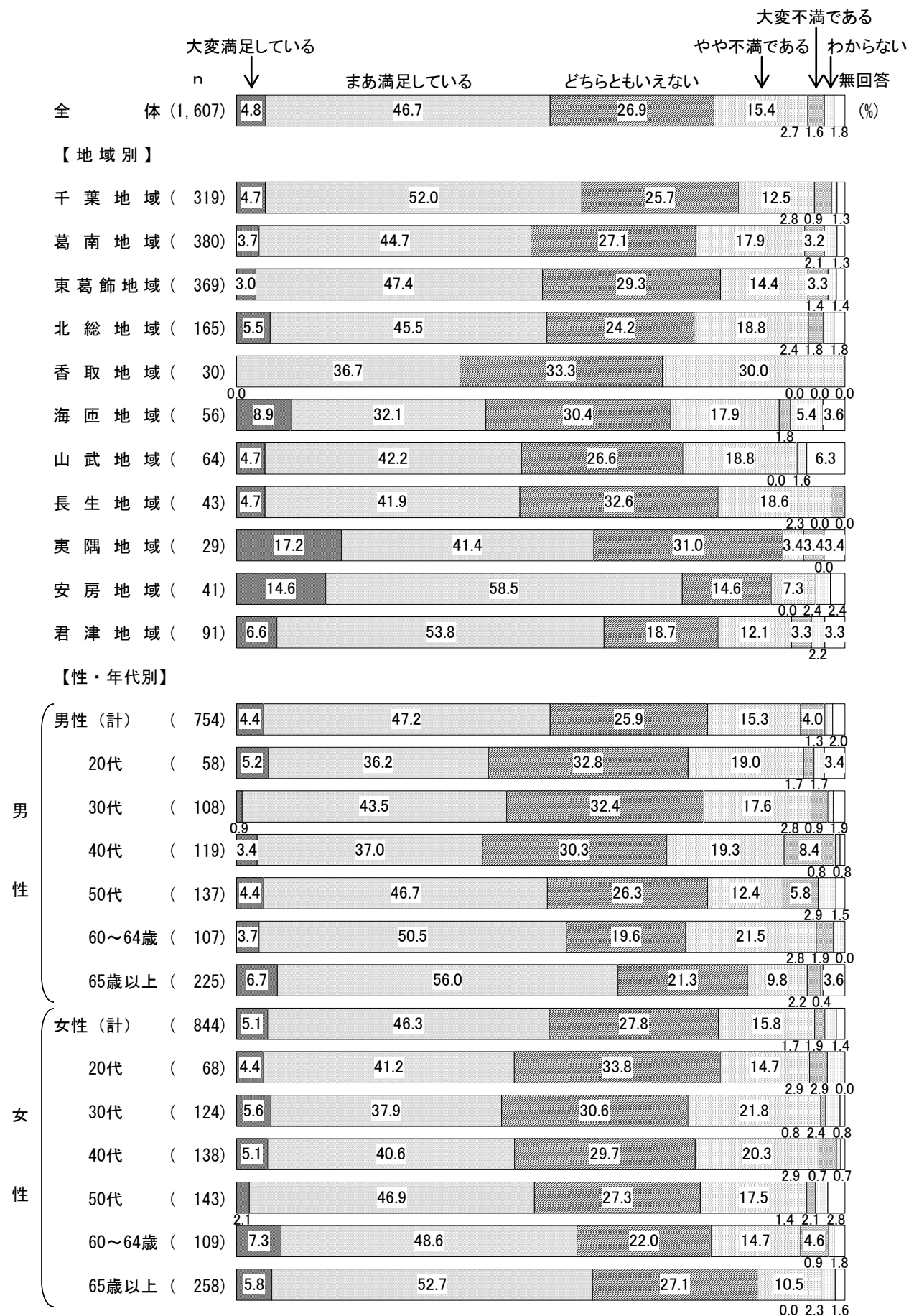
地域別にみると、『満足している』は“安房地域”(73.1%)で7割を超え最も高くなっている。

(図表1-15)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(62.7%)が6割を超え最も高くなっている。一方、『不満である』は男性の40代(27.7%)が約3割で最も高くなっている。(図表1-15)

<図表 1-15> 自然・周辺環境全般の満足度／地域別、性・年代別



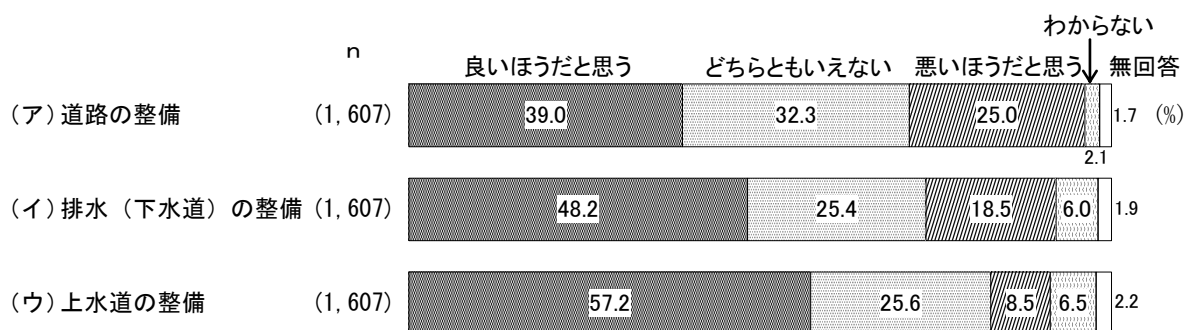
(6) 基盤整備について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈上水道の整備〉で約6割

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

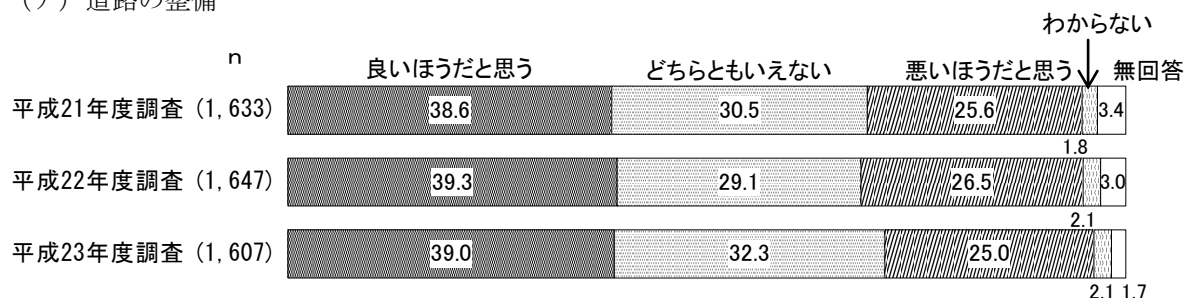
<図表1-16> 基盤整備について



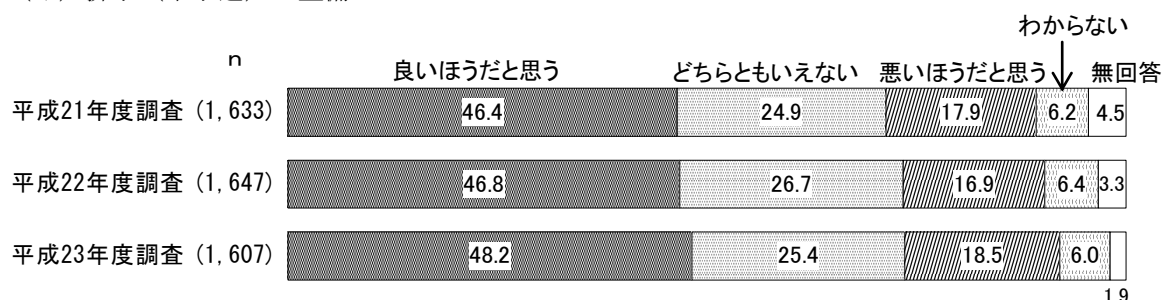
基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(57.2%)で約6割となっている。次いで、〈排水(下水道)の整備〉(48.2%)が約5割となっている。〈道路の整備〉は「良いほうだと思う」(39.0%)が約4割になっている。(図表1-16)

〔参考〕平成21年度・平成22年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

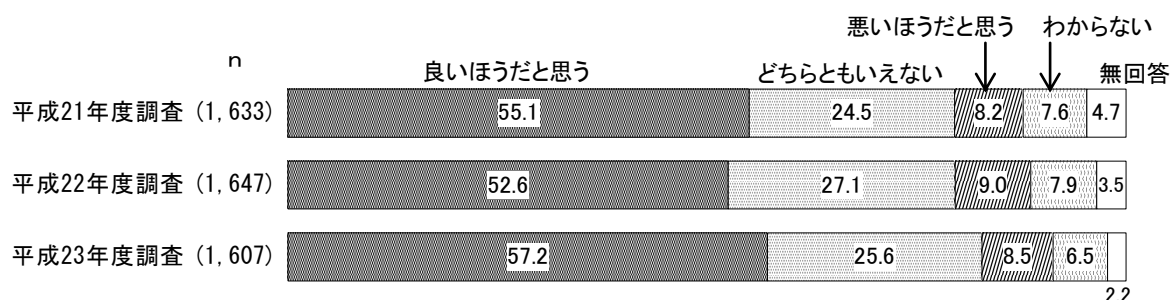
（ア）道路の整備



（イ）排水（下水道）の整備



（ウ）上水道の整備



【地域別】

地域別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（51.7％）が5割を超え、「悪いほうだと思う」は“香取地域”（43.3％）が4割台半ばで最も高い。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（65.2％）が6割台半ば、「悪いほうだと思う」は“香取地域”（56.7％）が5割台半ばで最も高い。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（69.6％）が7割で、「悪いほうだと思う」は“香取地域”（33.3％）が3割台半ばで最も高くなっている。（図表1-17）

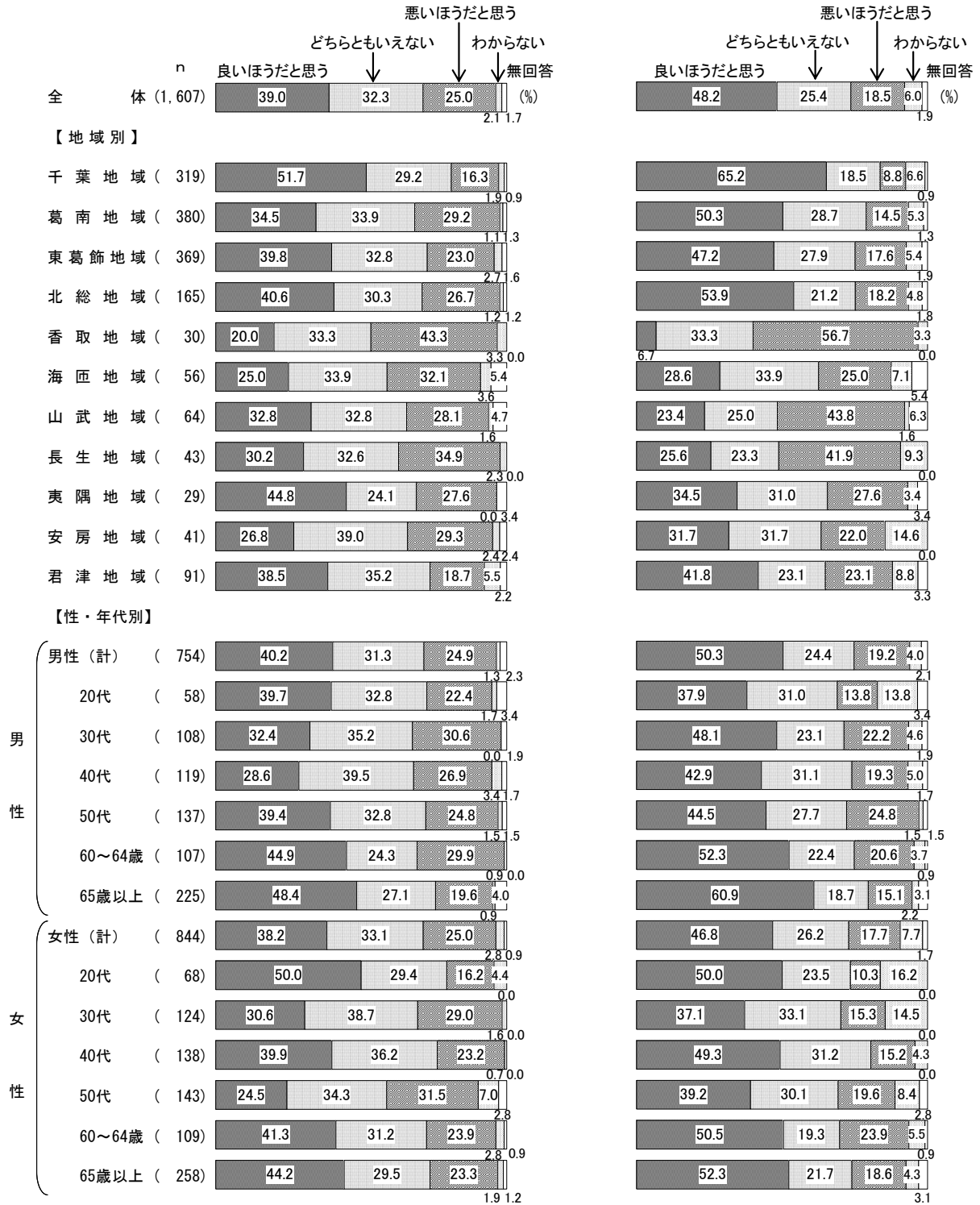
【性・年代別】

性・年代別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は女性の20代（50.0％）が5割、「悪いほうだと思う」は女性の50代（31.5％）が3割を超え最も高くなっている。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（60.9％）が6割で最も高くなっている。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（67.1％）が約7割で最も高くなっている。（図表1-17）

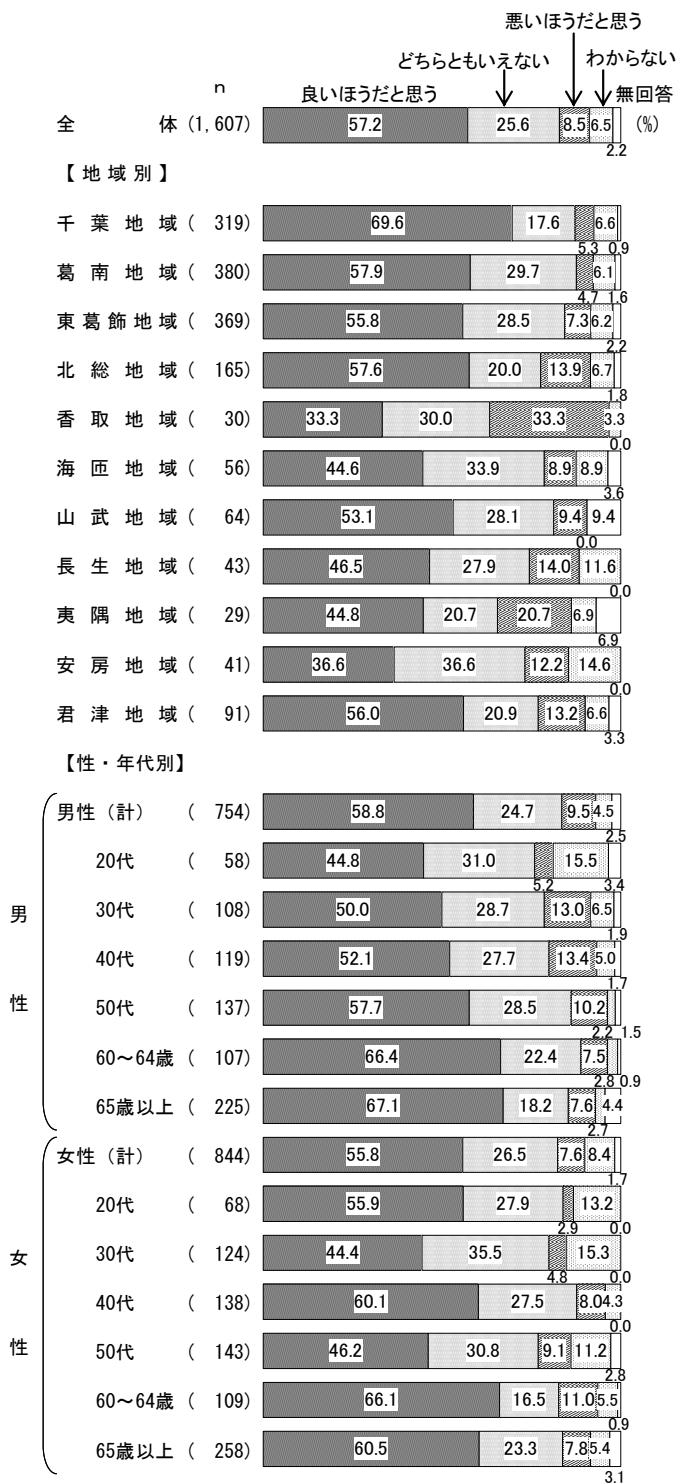
<図表 1-17> 基盤整備について／地域別、性・年代別

(ア) 道路の整備

(イ) 排水（下水道）の整備



(ウ) 上水道の整備

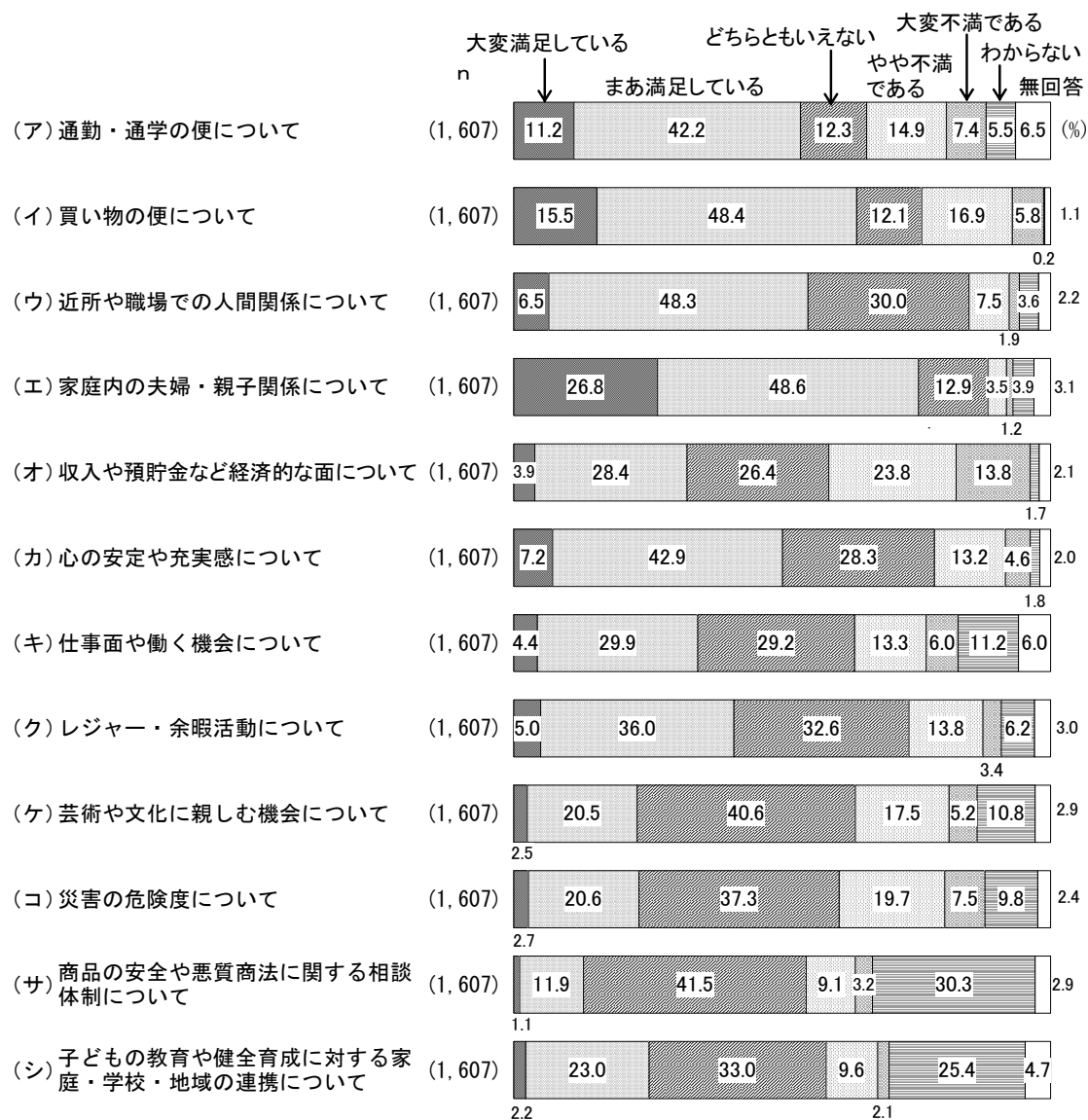


(7) 現在の生活の満足度

◇『満足している』が最も高いのは〈家庭内の夫婦・親子関係について〉で7割台半ば

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

<図表1-18>現在の生活の満足度



現在の生活に関する12個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(75.4%)で7割台半ばとなっている。以下、〈買い物の便について〉(63.9%)、〈近所や職場での人間関係について〉(54.8%)と続く。「やや不満である」と「大変不満である」を合わせて『不満である』とすると、12項目中10項目で『満足している』が『不満である』より高い中、〈収入や預貯金など経済的な面について〉、〈災害の危険度について〉の2項目は、『不満である』が『満足している』を上回っている。(図表1-18)

〔参考〕平成21年度・平成22年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

（ア）通勤・通学の便について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査（1,633）	51.5	25.5	23.0
平成22年度調査（1,647）	56.1	21.7	22.2
平成23年度調査（1,607）	53.4	22.3	24.3

（イ）買い物の便について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査（1,633）	61.0	25.1	13.9
平成22年度調査（1,647）	65.2	21.2	13.6
平成23年度調査（1,607）	63.9	22.7	13.4

（ウ）近所や職場での人間関係について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査（1,633）	54.3	9.7	36.0
平成22年度調査（1,647）	52.0	9.6	38.3
平成23年度調査（1,607）	54.8	9.4	35.8

（エ）家庭内の夫婦・親子関係について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査（1,633）	77.5	4.9	17.5
平成22年度調査（1,647）	74.7	5.4	19.9
平成23年度調査（1,607）	75.4	4.7	19.9

〔参考〕平成21年度・平成22年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査 (1,633)	29.1	41.5	29.3
平成22年度調査 (1,647)	29.4	41.2	29.4
平成23年度調査 (1,607)	32.3	37.6	30.2

(カ) 心の安定や充実感について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査 (1,633)	47.7	20.5	31.8
平成22年度調査 (1,647)	46.8	20.0	33.3
平成23年度調査 (1,607)	50.1	17.8	32.1

(キ) 仕事面や働く機会について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査 (1,633)	34.3	23.2	42.5
平成22年度調査 (1,647)	33.2	23.6	43.3
平成23年度調査 (1,607)	34.3	19.3	46.4

(ク) レジャー・余暇活動について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査 (1,633)	41.5	18.7	39.9
平成22年度調査 (1,647)	38.9	18.3	42.8
平成23年度調査 (1,607)	41.0	17.2	41.8

〔参考〕平成21年度・平成22年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

（ケ）芸術や文化に親しむ機会について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査 (1,633)	23.2	24.6	52.2
平成22年度調査 (1,647)	23.1	22.7	54.2
平成23年度調査 (1,607)	23.0	22.7	54.3

（コ）災害の危険度について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査 (1,633)	20.8	25.9	53.2
平成22年度調査 (1,647)	22.0	22.9	55.1
平成23年度調査 (1,607)	23.3	27.2	49.5

（サ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成22年度調査 (1,647)	11.3	15.4	73.3
平成23年度調査 (1,607)	13.0	12.3	74.7

（シ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成22年度調査 (1,647)	21.0	14.1	64.8
平成23年度調査 (1,607)	25.2	11.7	63.1

*（サ）「商品の安全や悪質商法に関する相談体制について」と（シ）「子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について」は、平成21年度に調査を実施していないため比較は平成22年度調査のみとの比較。

【地域別】

地域別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（71.1%）が7割を超えている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（80.0%）が8割となっている。

〈近所や職場の人間関係について〉において、『満足している』はすべての地域で5割を超えている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、『満足している』は“海匠地域”（60.7%）以外のすべての地域で7割を超えている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は“山武地域”（18.8%）以外のすべての地域で3割前後になっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は“夷隅地域”（62.1%）が6割を超えている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は“葛南地域”（40.3%）が4割となっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は“葛南地域”（47.7%）が約5割となっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は“葛南地域”（31.3%）が3割を超えている。

〈災害の危険度について〉において、『満足している』は“北総地域”（33.9%）と“君津地域”（33.0%）で3割を超えている。

〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において、『不満である』は“香取地域”（23.3%）と“山武地域”（20.3%）が2割を超えている。

〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は“君津地域”（29.7%）が3割となっている。（図表1-19）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は男性の40代（62.2%）、20代（62.1%）、30代（60.1%）が6割を超えている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は男性の30代（71.3%）、40代（70.5%）が7割台となっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は女性の30代（65.3%）が6割台半ばとなっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、『満足している』はいずれの性・年代においても7割以上となっているが、中でも、女性の60～64歳（81.7%）が8割を超えている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は男性の20代（39.6%）が4割台となっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は女性の20代（61.8%）が6割となっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は男性の20代（50.0%）が5割となっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は女性の20代（55.8%）が5割台半ばとなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は女性の20代（32.3%）が3割となっている。

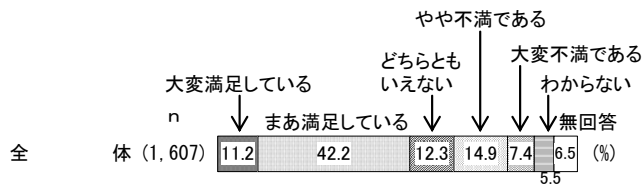
〈災害の危険度について〉では、『満足している』は男性の65歳以上（33.3%）が3割となっている。

〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において、『満足している』は男性の60～64歳（20.6%）が2割となっている。

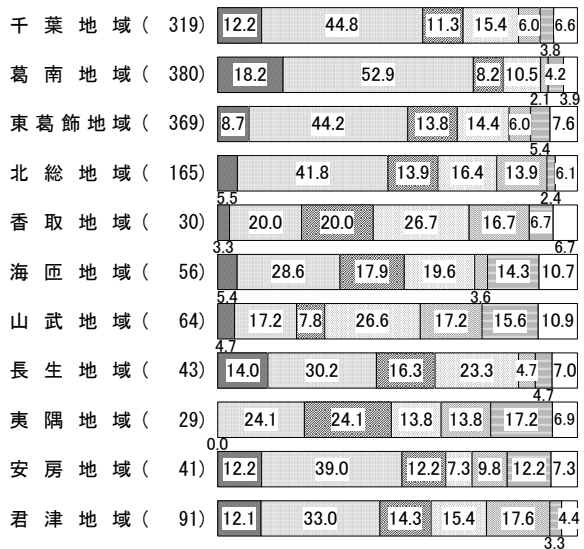
〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は女性40代（38.4%）が約4割となっている。（図表1-19）

<図表 1-19>現在の生活の満足度／地域別、性・年代別

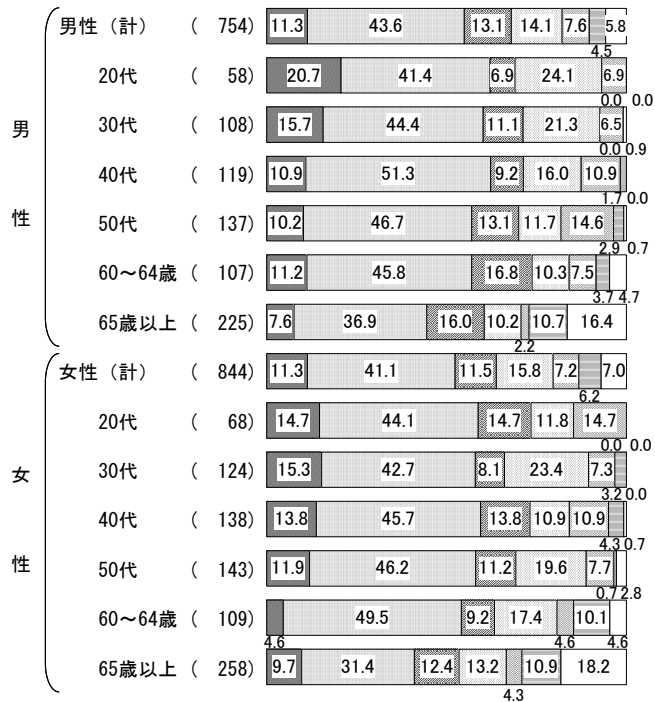
(ア) 通勤・通学の便について



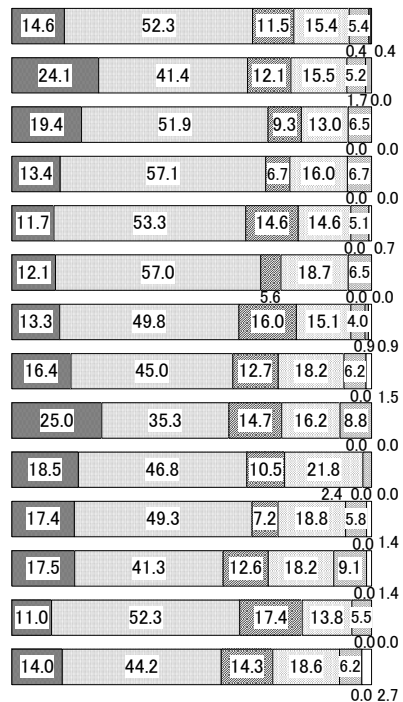
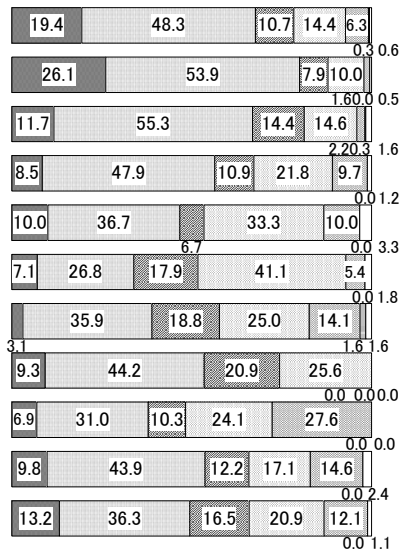
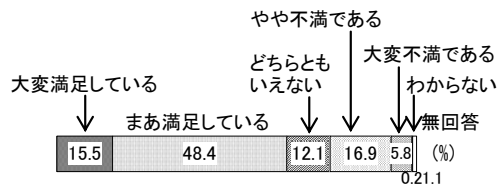
【地域別】



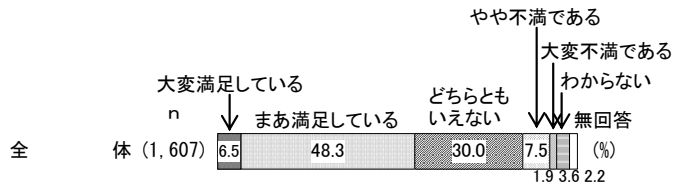
【性・年代別】



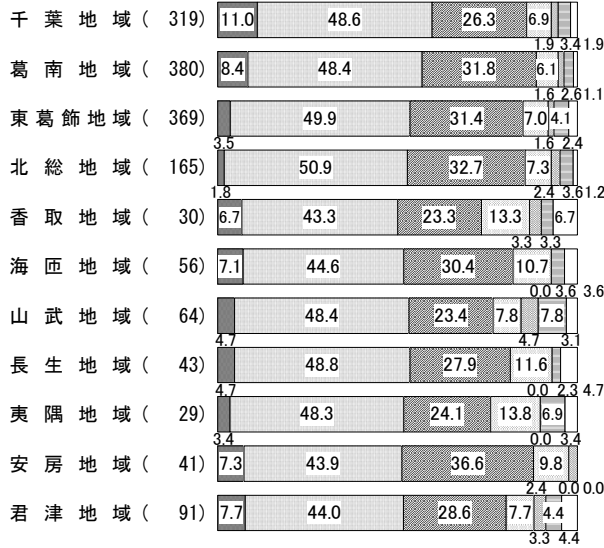
(イ) 買い物の便について



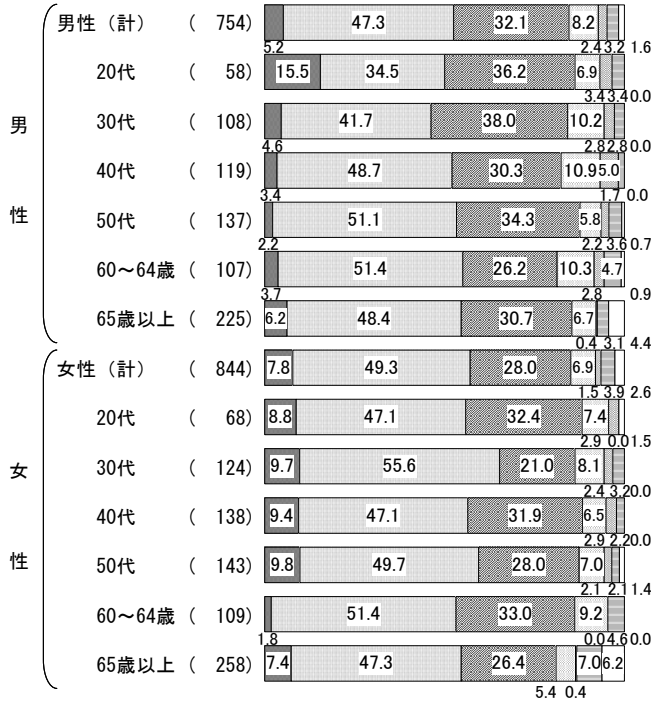
(ウ) 近所や職場での人間関係について



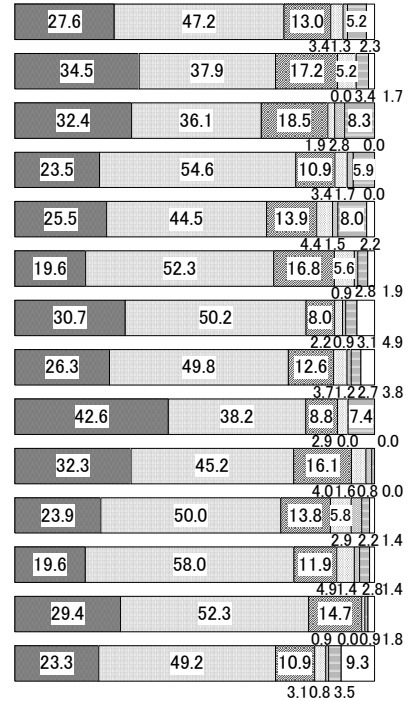
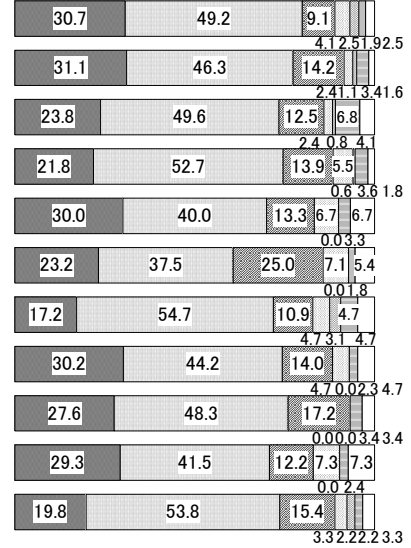
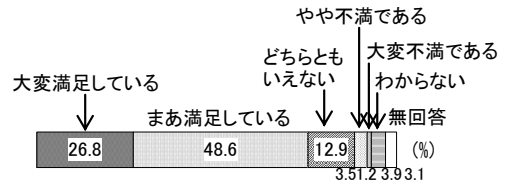
【地域別】



【性・年代別】

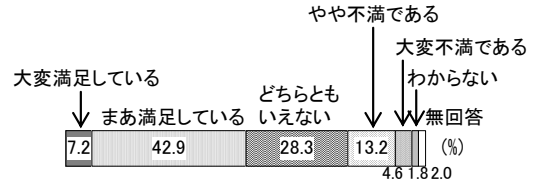
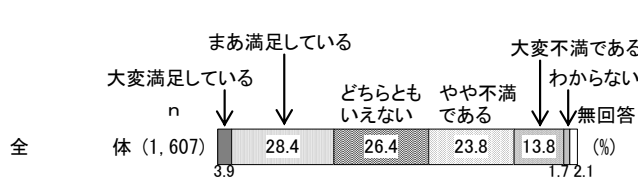


(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について

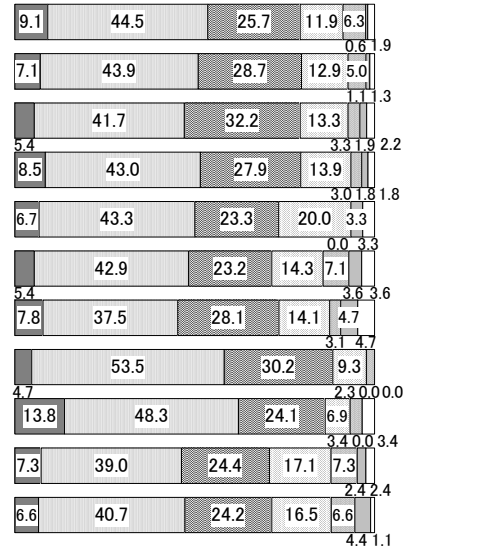
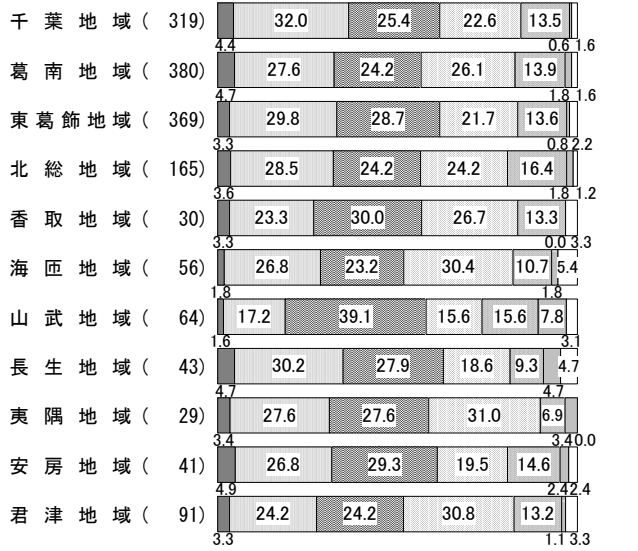


(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

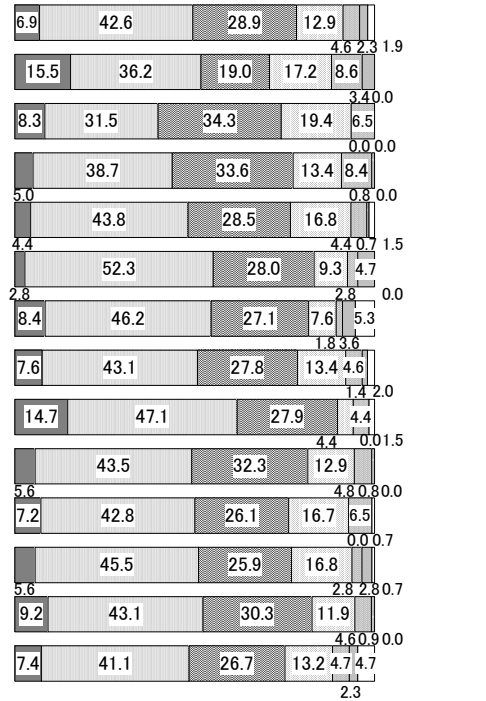
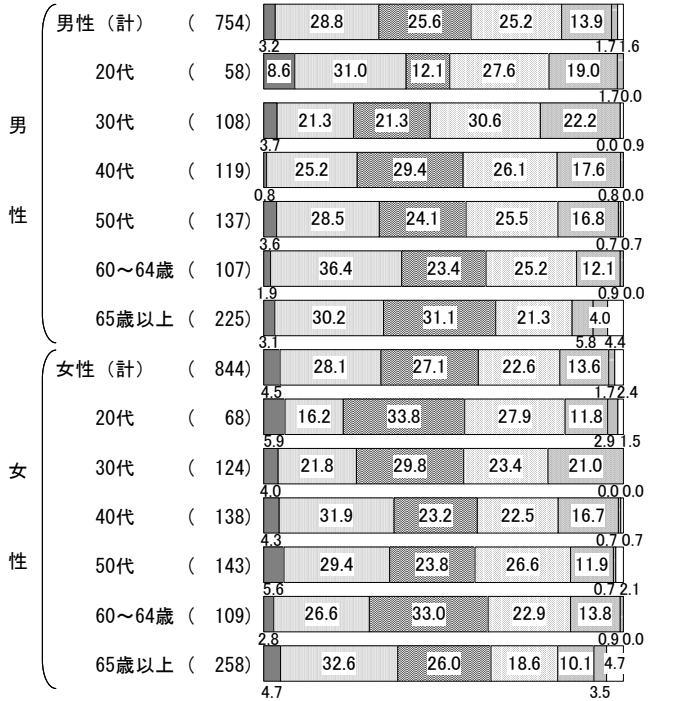
(カ) 心の安定や充実感について



【地域別】

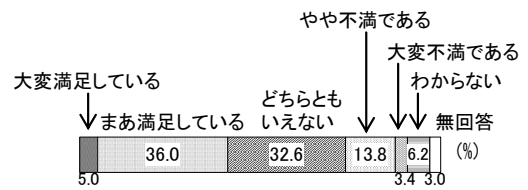
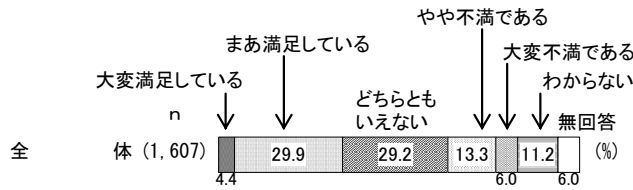


【性・年代別】

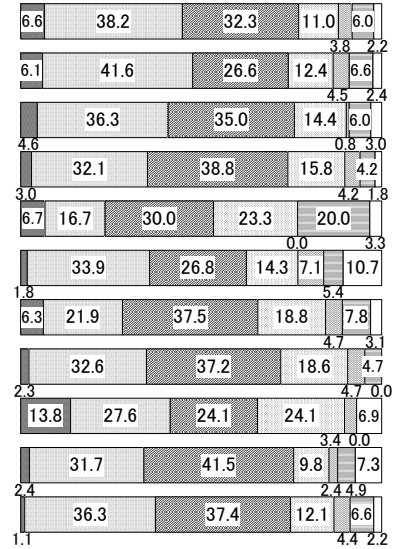
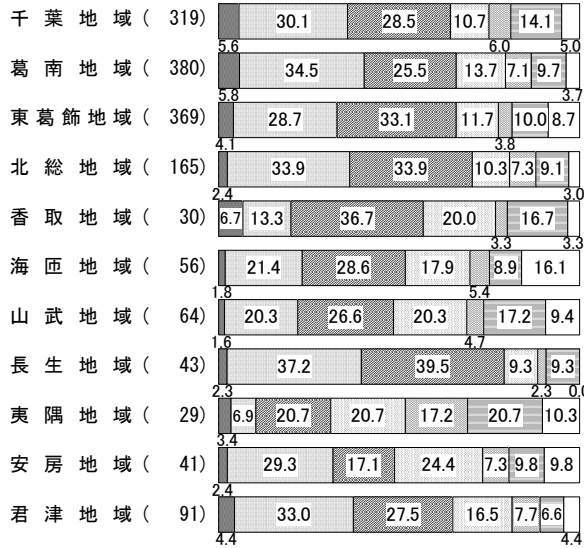


(キ) 仕事面や働く機会について

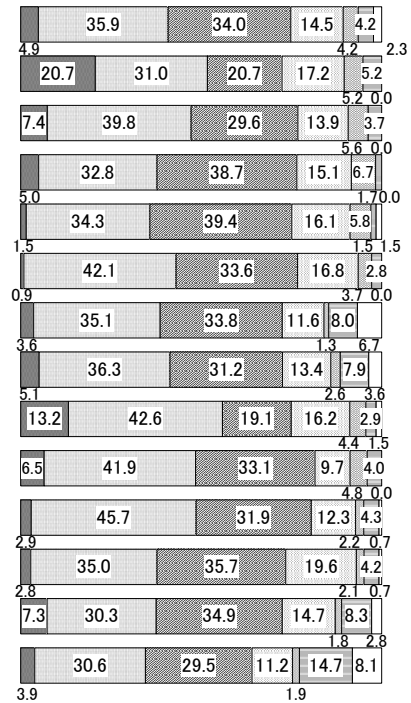
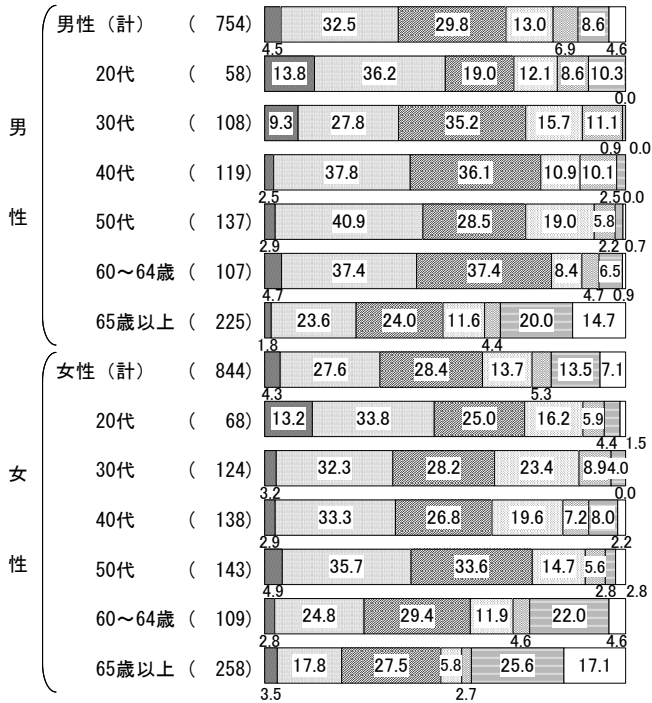
(ク) レジャー・余暇活動について



【地域別】

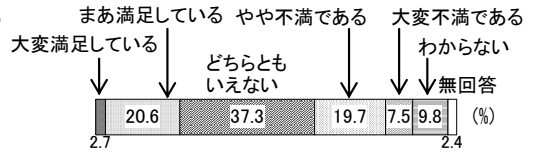
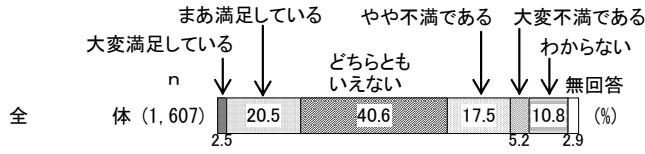


【性・年代別】

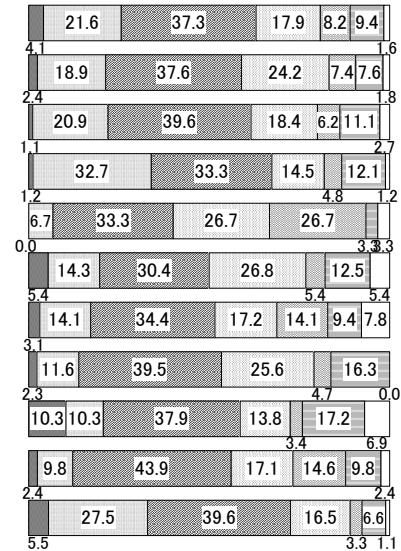
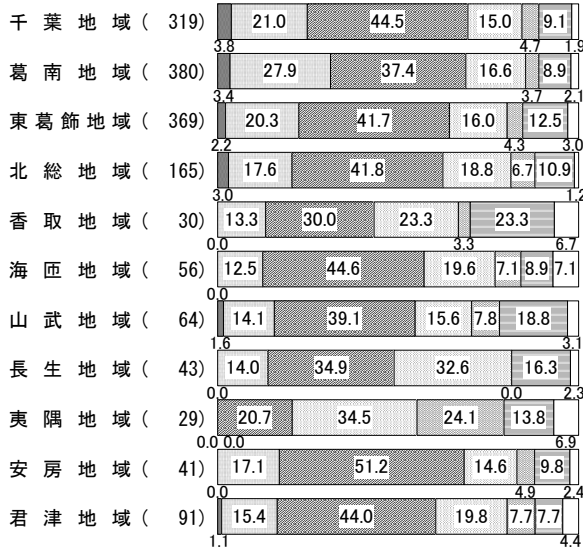


(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について

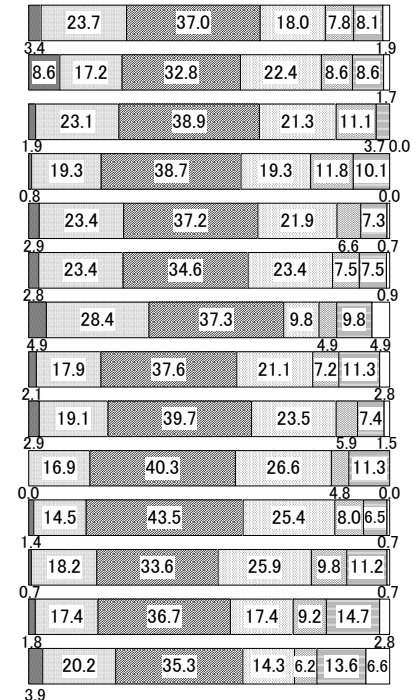
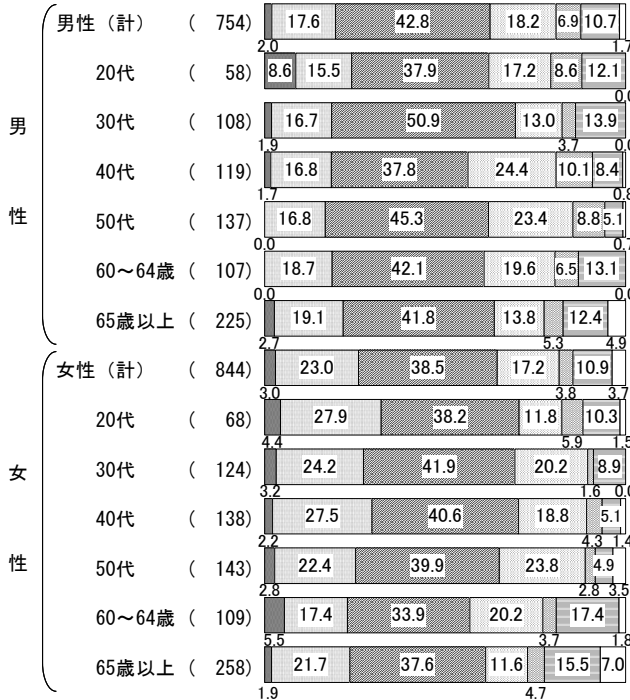
(コ) 災害の危険度について



【地域別】

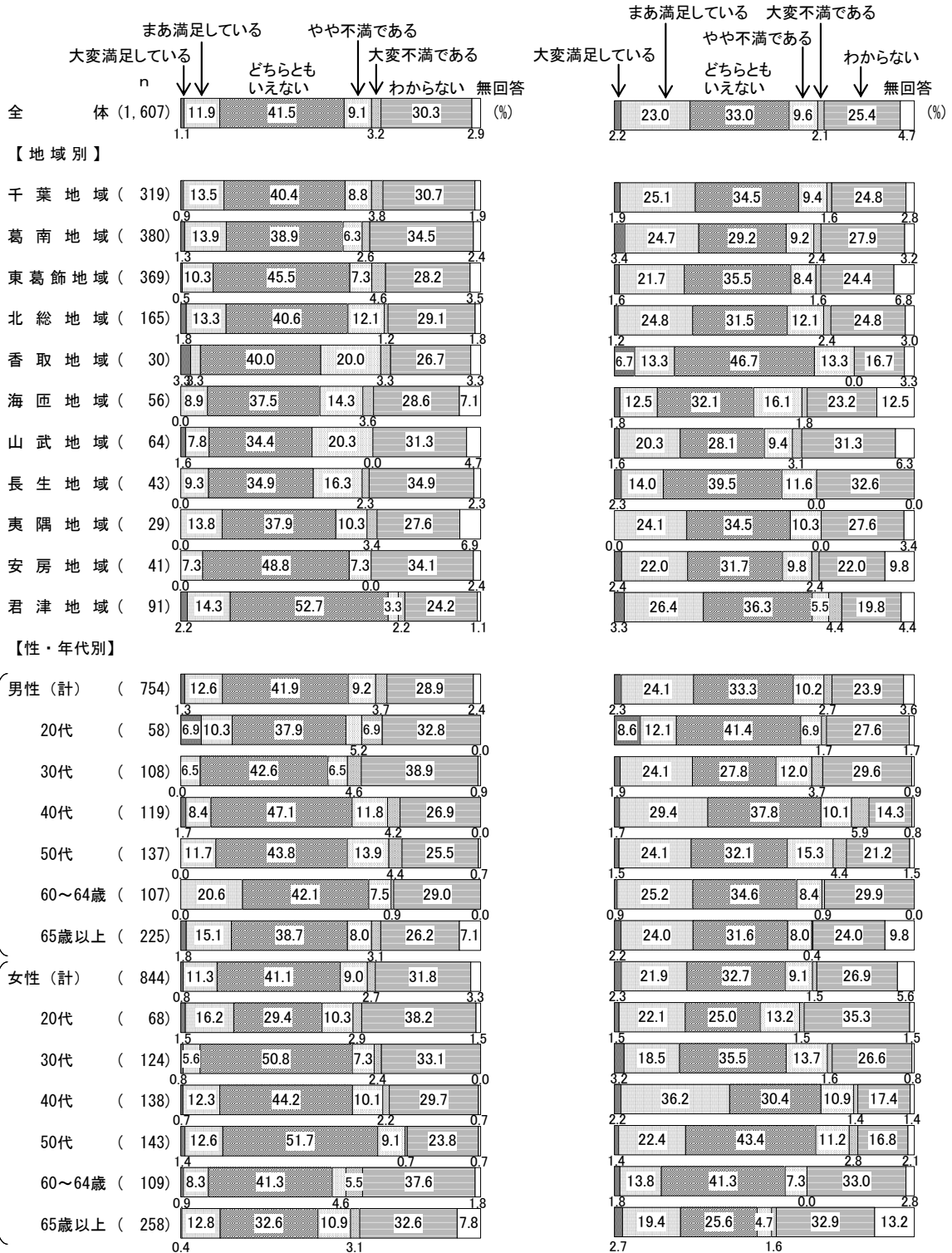


【性・年代別】



(サ) 商品の安全や悪質商法に関する相談体制について

(シ) 子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について

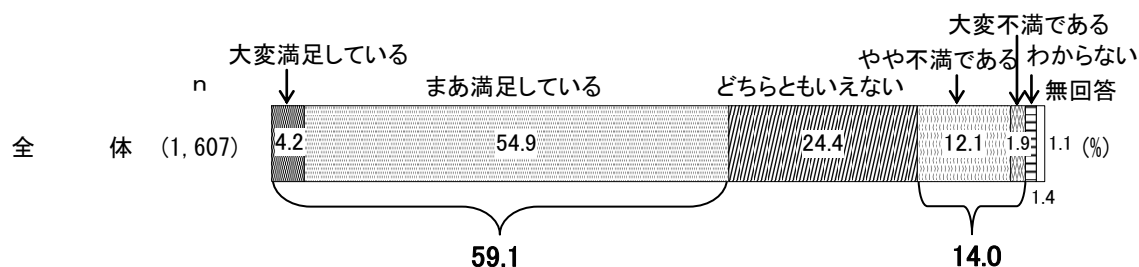


(8) 住生活全般の満足度

◇『満足している』が約6割

問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について満足していますか。
(○は1つ)

<図表1-20>住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」（4.2%）と「まあ満足している」（54.9%）を合わせた『満足している』（59.1%）は約6割となっている。一方、「やや不満である」（12.1%）と「大変不満である」（1.9%）を合わせた『不満である』（14.0%）は1割台半ばとなっている。（図表1-20）

〔参考〕平成21年度・平成22年度の同様の項目による調査結果（単位：%）

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成21年度調査 (1,633)	57.1	18.0	25.0
平成22年度調査 (1,647)	58.5	15.2	26.3
平成23年度調査 (1,607)	59.1	14.0	26.9

【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“君津地域”（63.7%）、“千葉地域”（63.6%）が6割台半ばで最も高くなっている。（図表1-21）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上（68.0%）が約7割で他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は男性の20代（20.6%）が2割で最も高くなっている。

（図表1-21）

<図表 1-21> 住生活全般の満足度／地域別、性・年代別

